

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく

# 栄町教育委員会の点検・評価報告書

(令和4年度対象)



栄町教育委員会

令和5年11月

## 1 はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しなければならないこととされています。また、第2項では点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとしてされています。栄町教育委員会では法の趣旨に則し、課題や方向性を明らかにし、より効果的な教育行政の推進のため、学識経験者からの意見を受け報告書にまとめ、町議会に提出するとともに、それを公表し説明責任を果たすものです。

### ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 栄町教育委員会委員名簿

職 名	氏 名
教 育 長	藤 ケ 崎 功
教育長職務代理者	中 島 宣 行
委 員	大 久 保 雅 従
委 員	濱 田 香 奈
委 員	安 永 順 子

## 2 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議は、原則として毎月1回「定例会」、必要に応じて「臨時会」を開催しています。また、教育委員会の所管事項について調査研究等を要するものがある場合に、「委員協議会」を開催する他、教育委員会各課と議題に係る情報共有を図るため「勉強会」を開催しています。

・教育委員会会議 定例会12回 ・委員協議会 2回 ・勉強会 8回

「栄町教育委員会行政組織規則」第7条に基づき、次のとおり審議を行いました。また、定例会・臨時会において委員報告や各所管課等の行事等報告を行いました。

### (1) 審議内容一覧

内 容	件 数
教育行政の運営に関する基本方針を定めること	2
教育委員会規則その他教育委員会の定める規程を制定し、又は改廃すること	13
予算その他議会の議決を要する議案について町長に意見を申し出ること	8
教育機関の施設の整備計画を定めること	0
県費負担教職員の任免その他の進退に関する内申に関すること	0
附属機関の委員を任命し、又は委嘱すること	12
教育功労者を表彰すること	1
教科書その他の教材の取扱いの方針を定めること	1
教科書用図書の採択に関すること	1
教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること	1
県費負担教職員の人事異動方針を定めること	1
重要又は異例に属する事項	12

(2) 議決事項一覧

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・附属機関委員の委嘱について（3件）</li> <li>・令和5年度使用教科用図書の取扱い方針（案）について</li> <li>・令和4年度教科用図書印旛地区採択地区協議会委員について</li> <li>・令和4年度教科用図書印旛地区採択地区協議会専門調査員会調査員候補者の推薦について</li> <li>・令和4年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度栄町一般会計教育費補正予算第2号について</li> <li>・令和4年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議決事項なし</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・附属機関委員の委嘱について（2件）</li> <li>・栄町立竜角寺台小学校校舎屋上防水改修等工事請負契約について</li> <li>・令和4年度栄町一般会計教育費補正予算第3号について</li> <li>・令和5年度使用教科用図書の採択について</li> <li>・令和4年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度栄町一般会計教育費補正予算第4号について</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・附属機関委員の委嘱について（2件）</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度末及び令和5年度栄町立学校職員人事異動方針（案）について</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄町学校運営協議会の設置等に関する規則の制定について</li> <li>・特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について</li> <li>・栄町教育委員会の点検・評価報告書（案）について</li> <li>・令和4年度栄町一般会計教育費補正予算第7号について</li> <li>・令和4年度要保護及び準要保護児童生徒の認定の取り消しについて</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議決事項なし</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議決事項なし</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄町教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則について</li> <li>・栄町教育委員会公印規則の一部を改正する規則について</li> <li>・栄町教育委員会行政文書管理規則の一部を改正する規則について</li> <li>・栄町教育委員会行政文書管理規程の一部を改正する訓令について</li> <li>・栄町教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令について</li> <li>・栄町有バス整備管理規程の一部を改正する訓令について</li> <li>・栄町学校給食センター建設用地選定検討委員会設置要綱を廃止する告示について</li> <li>・令和4年度栄町一般会計教育費補正予算第10号について</li> <li>・令和5年度栄町一般会計教育費当初予算について</li> <li>・令和4年度要保護及び準要保護児童生徒（新入学児童生徒学用品）の認定について</li> </ul>

3 月	<ul style="list-style-type: none"><li>・栄町教育振興基本計画（案）について</li><li>・栄町立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則について</li><li>・栄町教員用タブレット端末等貸与要綱について</li><li>・栄町児童生徒用タブレット端末等貸与要綱について</li><li>・栄町教育委員会課長会議運営要綱の一部改正について</li><li>・栄町給食費負担金徴収事務取扱要綱の一部改正について</li><li>・令和5年度栄町学校教育プラン（案）について</li><li>・学校運営協議会委員の任命について</li><li>・令和5年度栄町社会教育関係団体の認定について</li><li>・認定文化財ガイドの認定について</li><li>・教育功労者の感謝状について</li><li>・栄町教育委員会事務局職員（課長職）の任免について</li><li>・令和4年度末教職員人事異動について</li><li>・附属機関委員の委嘱について（5件）</li></ul>
-----	---

## 目 次

- 1 点検・評価の対象 . . . . . P 1
- 2 点検・評価の方法 . . . . . P 1
- 3 点検・評価の結果 . . . . . P 1
- 4 点検・評価（施策評価シート）

令和4年度栄町教育方針

### 基本方針（Ⅰ）

子どもたちが良好な環境で学習できる施設整備を推進します。 . . . . . P 2～P 5

○学識経験者の意見 . . . . . P 6・P 7

○学識経験者からの意見を受けた今後の取組について . . . . . P 8

### 基本方針（Ⅱ）

みんなが一体となって栄っこを育成する教育を推進します。 . . . . . P 9～P 17

○学識経験者の意見 . . . . . P 18～P 20

○学識経験者からの意見を受けた今後の取組について . . . . . P 21・P 22

### 基本方針（Ⅲ）

生きがいがある学習やスポーツ環境づくりを推進します。 . . . . . P 23～P 28

○学識経験者の意見 . . . . . P 29・P 30

○学識経験者からの意見を受けた今後の取組について . . . . . P 31

### 基本方針（Ⅳ）

地域に根ざした芸術・文化の育成と文化財等の保護・活用を図ります。 . . . . . P 32～P 36

○学識経験者の意見 . . . . . P 37・P 38

○学識経験者からの意見を受けた今後の取組について . . . . . P 39

- 5 本町教育行政が取組む方向について . . . . . P 40

## 1 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、「栄町教育方針」を実現するため、令和4年度の重点的な取組として実施した、「教育施設の充実」「給食施設の充実」「教育のICT化の推進」「特色ある学校づくりの支援」「きめ細かな学校教育の推進」「学力向上の推進」「教育行政の推進」「生涯学習機会の充実」「生涯学習施設の充実」「スポーツ環境づくりの推進」「芸術文化活動の支援」「文化財等の保護と活用」の12の施策について点検・評価しました。

## 2 点検・評価の方法

点検・評価にあたっては、教育委員会事務局で作成した「施策評価シート」により自己評価を実施しました。

評価は、施策全体の取組状況（達成度）について

}	目標を達成	★★★
	目標をほぼ達成	★★
	目標に達成していない	★
	現時点で判定できない	—

の4段階で実績・成果・課題を記述し、評価する方法で行いました。

なお、客観性を一層高めるため、教育に関し学識経験を有する方に取組状況を説明し、基本方針ごとの自己評価に対する学識経験者からの意見をいただきました。ご意見をいただいた方々は、次のとおりです。

(敬称略)

氏名 中澤 一夫 (団体役員)

氏名 弘海 千鶴 (元栄町教育委員)

## 3 点検・評価の結果

施策評価シートにより、点検評価を実施しています。

《目標に対する達成状況 12施策の結果》

目標を達成 ★★★・・・6施策

目標をほぼ達成 ★★・・・4施策

目標に達成していない ★・・・—施策

現時点で判定できない —・・・2施策

## 4 点検・評価（施策評価シート）

基本方針（I） 子どもたちが良好な環境で学習できる施設整備を推進します。

安全で安心な教育環境を確保するために教育施設等の修繕や改修等の整備を推進していきます。また、情報教育時代にあったICT設備の設置等ICT環境の整備を推進していきます。

### 【施策名】

- ・教育施設の充実 . . . . . P 3
- ・給食施設の充実 . . . . . P 4
- ・教育のICT化の推進 . . . . . P 5

○学識経験者の意見 . . . . . P 6 ・ P 7

○学識経験者からの意見を受けた今後の取組について . . . . . P 8



# 施策評価シート

## 1. 施策の情報整理

施策名		教育施設の充実				
現状と課題		<p>・学校は、次代を担う子供たちの教育を行う場であるとともに、地域住民にとっては地域コミュニティ育成の場として、また、災害時には避難所としての役割を持つ施設であることから社会情勢に対応した整備が求められている。</p> <p>・本町の学校校舎は、建築後30年以上が経過しており老朽化が進んでいるため、学校施設を利用する児童生徒等がこれからも安全安心に利用できる施設として提供できるよう継続的な維持管理が必要である。</p> <p>また、計画的な学校施設の修繕や長寿命化に向けた予防改修を行うための事業費が高額なため財源措置が課題となっている。</p>				
目指す成果		安全安心な学習環境を確保するため、各学校の必要な施設等の修繕や改修工事等が計画的に行われている。				
成果指標及び実績	指標	教育振興基本計画策定時の現状値(平成30年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度教育振興基本計画最終年度	目標数値の説明
	改修工事着工件数	1件	目標値 1件 実績値 2件	目標値 1件 実績値 1件	目標値 0件 実績値 1件	
施策全体の達成度(★★★)	★★★	目標を達成(100%) 目標をほぼ達成(80%以上) 目標を達成していない 現時点では判定できない	★★★★ ★★★ ★★ ★ —	施策の事業費(上段:最終予算) (下段:決算額)		75,605 千円 71,668 千円
達成度の理由	<p>・栄町教育振興基本計画における目標として、平成31年度～令和4年度の期間に、学校施設の大規模改修工事着工件数を3件(安食台小学校屋外運動場整備工事(令和元年度)、布鎌小学校大規模改修工事(令和2年度)、竜角寺台小学校大規模改修工事(令和3年度))設定した。</p> <p>・令和2年度は、安食台小学校及び栄中学校屋外運動場整備工事を完了した。令和3年度は、布鎌小学校校舎大規模改修工事を完了した。令和4年度は、竜角寺台小学校屋上防水等改修工事を完了した。</p> <p>・計画していた学校施設の大規模改修工事(令和2年度-3年度布鎌小、令和3年度-4年度竜角寺台小)は、すべて完了したことから「目標を達成」と判断した。</p>					
設定成果指標以外に現れた成果の説明	<p>・高圧受変電設備更新工事(安食小学校、布鎌小学校)※1、小中学校受水槽設備改修工事(安食小学校、布鎌小学校、竜角寺台小学校、栄中学校)、栄中学校図書室空調設備修繕工事等を実施するなど児童生徒等が安全安心に学校生活が送れるよう教育環境の確保に努めた。</p> <p>※1 令和3年度繰越事業</p> <p>・体育館へ大型気化式冷風機(小中学校各2台)を導入。夏季期間における体育館での授業及び災害時の避難所対応の際に快適に利用できる環境を整備した。</p>					
外部環境の変化や住民ニーズの変化など、今後、課題と対応が予測されるもの	<p>・学校施設は、子供たちの教育を行う場所だけでなく、地域コミュニティ育成の場や災害時の避難場所としても利用されている。これからの学校施設に求められる機能を整備する必要がある。</p> <p>・建築資材等の高騰により事業費が上昇している。財政負担の軽減に向け、財源確保や事業費の平準化が課題である。</p>					
住民との協働や他課の事業との連携	<p>くらし安全課(災害時の避難場所となっていることから、災害時等にも対応できる施設の整備を推進)</p>					

## 2. 事務事業の取組

(単位:千円)

事務事業名	令和4年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)	事業費
① 学校施設大規模改修事業	<p>○竜角寺台小学校校舎屋上防水改修工事を令和4年8月に着工し、令和5年3月に工事を完了した。</p> <p>・竜角寺台小学校校舎屋上防水改修工事等監理委託 2,530千円</p> <p>・竜角寺台小学校校舎屋上防水改修工事 62,882千円</p> <p>・竜角寺台小学校受水槽周り配管等修繕工事 1,142千円</p> <p>・竜角寺台小学校受水槽周りバルブ交換 193千円</p>	<p>【取組への課題】</p> <p>・学校施設大規模改修工事には、多額の費用が伴い、国の補助採択が必要である。そのため、補助採択の状況により事業実施が左右されてしまうことから、安定的な財源の確保が焦点となってくる。</p>	R2 決算 73,830
		<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <p>・「学校施設の個別施設計画」を基に、学校施設の実情を踏まえ、安全安心のための施設整備を計画的に実施できるよう、引き続き予算要望を行っていく。</p>	R3 決算 39,030
		<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <p>・「学校施設の個別施設計画」を基に、学校施設の実情を踏まえ、安全安心のための施設整備を計画的に実施できるよう、引き続き予算要望を行っていく。</p>	R4 予算 70,640
		<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <p>・「学校施設の個別施設計画」を基に、学校施設の実情を踏まえ、安全安心のための施設整備を計画的に実施できるよう、引き続き予算要望を行っていく。</p>	R4 決算 66,747
② 学校施設修繕事業	<p>○児童生徒等の安全安心な学習環境を確保するため施設の老朽化部分の改善を図った。</p> <p>【主な工事内容】</p> <p>・高圧受変電設備更新工事 ※2 2,255千円 (安食小学校、布鎌小学校)</p> <p>・小中学校受水槽設備修繕工事 313千円 (安食小学校、布鎌小学校、竜角寺台小学校、栄中学校)</p> <p>・布鎌小学校消火栓ポンプ制御電線修繕 326千円</p> <p>・布鎌小学校浄化槽内原水ポンプ修繕 289千円</p> <p>・小学校換気扇修繕 303千円 (布鎌小学校、安食小学校)</p> <p>・栄中学校図書室空調設備修繕工事 ※3 1,309千円</p> <p>※2 令和3年度繰越事業</p> <p>※3 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用</p>	<p>【取組への課題】</p> <p>・大規模改修工事を計画的に実施してきたものの、建築後30年以上経過している学校施設が多く、設備の不具合が相当数発生している。今後も老朽箇所の修繕や小学校プールの撤去等すべてに対応できるだけの予算措置が課題である。</p>	R2 決算 9,848
		<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <p>・修繕等が必要とされるすべての部分について、予算措置により対応していくことは難しい状況である。優先箇所を見極めながら計画的に修繕事業を実施していく。</p> <p>・小学校プールの撤去については、始めに、令和5年度安食小学校の屋外運動場改修工事に合わせ実施を予定している。</p>	R3 決算 5,364
		<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <p>・修繕等が必要とされるすべての部分について、予算措置により対応していくことは難しい状況である。優先箇所を見極めながら計画的に修繕事業を実施していく。</p> <p>・小学校プールの撤去については、始めに、令和5年度安食小学校の屋外運動場改修工事に合わせ実施を予定している。</p>	R4 予算 4,965
		<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <p>・修繕等が必要とされるすべての部分について、予算措置により対応していくことは難しい状況である。優先箇所を見極めながら計画的に修繕事業を実施していく。</p> <p>・小学校プールの撤去については、始めに、令和5年度安食小学校の屋外運動場改修工事に合わせ実施を予定している。</p>	R4 決算 4,921
合計			R2 決算 83,678
			R3 決算 44,394
			R4 予算 75,605
			R4 決算 71,668

# 施策評価シート

## 1. 施策の情報整理

施策名		給食施設の充実					
現状と課題		給食センター施設内における配管設備及び調理機器に対する修繕箇所が、年々増加傾向にある。施設機能の低下による給食の安定供給を損なうことのないよう適切な維持管理に努めていく必要がある。					
施策の情報整理	目指す成果	将来にわたって安全安心な学校給食を児童生徒に提供できるよう、老朽化が著しい既存の給食センターの建替え計画が進んでいるとともに、その間必要な修繕が行われている。					
	成果指標及び実績	指 標	教育振興基本計画 策定時の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度 教育振興基本計画 最終年度	目標数値の説明
		給食施設における修繕及び改修件数	0件	目標値 2件 実績値 2件	目標値 1件 実績値 1件	目標値 2件 (うち改修1件) 目標値 2件 (うち改修1件)	既存施設の各年度の修繕及び改修件数
	施策全体の達成度 (★★★)	★★★	目標を達成(100%) ★★★ 目標をほぼ達成(80%以上) ★★ 目標を達成していない ★ 現時点では判定できない —	施策の事業費 (上段:最終予算) (下段:決算額)		19,999 千円 8,472 千円	
	達成度の理由	・施設が老朽化し、建替えを予定していることから、必要最低限の修繕の目標値とし、目標値と同様の修繕を実施した。しかし、給食センターの建替えに伴う設計業務委託(建築、電気、機械設備及び外構等)を実施中に盛土造成工事の必要性が検討されたことから、設計業務委託は、年度途中で終了した。盛土造成実施設計業務委託については、令和5年度に繰越事業とした。給食センターの建替えは、当初の計画より期間を要しているが、現在の給食センター施設について、修繕等を実施しながら維持管理に努め、児童生徒に安全安心な学校給食が提供できている。以上のことから「目標を達成」と判断した。					
	設定成果指標以外に現れた成果の説明	食物アレルギーのある児童生徒への対応については代替食による対応を基本とし、保護者の方に詳細な食品成分等の資料を配布することでアレルギー事故を防ぐ取組を行っている。					
	外部環境の変化や住民ニーズの変化など、今後、課題と対応が予測されるもの	平成21年に学校給食衛生管理基準が施行され、明確に学校給食の適切な衛生管理を図るための事項が定められたが、当給食センターは昭和62年に供用を開始し、施設・設備等の老朽化が進んでいることや基準に適合していない事項があることから、基準に準じるよう対策等を講じ、衛生管理の徹底に努める必要がある。					
住民との協働や他課の事業との連携	栄町学校給食センター運営協議会・建替えに伴う庁内関係課(くらし安全課、企画財政課、都市建設課、下水道課、長門川水道企業団)						

## 2. 事務事業の取組

(単位:千円)

事務事業名	令和4年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)	事業費	
① 学校給食センター修繕事業	○給食センター機能の維持管理を図るため必要な修繕を実施した。  【修繕内容】 建物施設の修繕 【 198千円】 施設設備等 【 1,875千円】 調理機器等 【 4,199千円】  ※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用分 修繕費等 【 2,947千円】	【取組への課題】 ・老朽化による給食センター施設及び設備等が経年劣化により、年々修繕箇所が増加傾向である。現在、給食センターの建替え計画が進められているが、安全安心な給食の提供を行えるよう有効な施設等の維持管理が課題である。	R2 決算	2,829
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・新給食センター建替えまで、現給食センター施設の法定点検、保守点検、日常点検等を実施し、機能の維持に必要な箇所の修繕等を行う。	R3 決算	2,885
			R4 予算	6,299
			R4 決算	6,272
② 学校給食センター建替え事業	○給食センターの建替えに係る基本的な業務を実施した。  ・建替工事実施設計業務委託 【 2,200千円】 ・盛土造成実施設計業務委託 ※1 【10,670千円】  ※1 給食センター建替えに伴う、建築等の建替工事実施設計業務委託を実施していたが、盛土造成工事の必要性があると判断し、実施設計については契約変更を行い終了した。また、盛土造成実施設計業務委託は、令和5年度へ繰越した。	【取組への課題】 ・建設予定地の盛土造成工事実施検討および周辺インフラ整備等 ・財源確保の問題	R2 決算	29,796
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・盛土造成実施設計業務委託の実施(令和5年度)を踏まえ、計画的に建設を進めていく。 ・各関係機関及び施設設備機器の検討を行う。	R3 決算	17,446
			R4 予算	13,700
			R4 決算	2,200
合 計			R2 決算	32,625
			R3 決算	20,331
			R4 予算	19,999
			R4 決算	8,472

# 施策評価シート

## 1. 施策の情報整理

施策名	教育のICT化の推進					
現状と課題	町の人口減少とともに少子化による児童生徒数の減少が予測される中、学校運営や教育活動など子供たちへの教育の影響の大きさが懸念される。児童生徒及び教職員がよりよい環境で学習することができ、安心して学校生活を送れるようにするための学習環境の整備が必要である。教育のICT化についても、教職員の働き方改革や国のGIGAスクール構想などから、教職員の校務支援及び児童生徒の学習環境の整備として、ICT環境の充実を図っていく必要がある。					
目指す成果	情報教育の時代にあったICT化に向け、施設や機器などICT環境の充実が図られている。					
成果指標及び実績	指標	教育振興基本計画策定時の現状値(平成30年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度教育振興基本計画最終年度	目標数値の説明
	タブレットを使った授業数	0 授業数	目標値 150授業数 実績値 0	目標値 150授業数 実績値 2,412	目標値 250授業数 実績値 4,250	ICT機器を使った授業数
施策全体の達成度(★★★)	★★★	目標を達成(100%)	★★★★		施策の事業費(上段:最終予算) (下段:決算額)	37,161 千円
		目標をほぼ達成(80%以上)	★★★			37,092 千円
達成度の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT支援員による各校への支援や、町ICT支援職員・指導主事による支援や研修会の実施により、学校でのICTの活用が日常的なものとなり、多くの授業で活用が見られた。また、欠席した児童生徒や学級閉鎖などの場合にはオンラインで授業を実施した。</li> <li>ICT教育の実践例の資料を各学校に指導、助言するなど、活用の共有を図ることができ、Teamsによる音読や課題の提出などの新しい取組が見られた。</li> </ul> これらのことから「目標を達成した」と判断した。					
設定成果指標以外に現れた成果の説明	各校でも効果的に活用できるようになった。各校の状況を確認すると、ドリルなどの学習やインターネットを活用した調べ学習など様々な学習場面で活用していることが分かった。					
外部環境の変化や住民ニーズの変化など、今後、課題と対応が予測されるもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>校務支援パソコンの導入や児童生徒のタブレットを活用した取組を、保護者へ周知するとともに、災害や感染症による臨時休業等が実施された場合において、家庭と連携をした、家庭学習等の取組を行うことが予想される。</li> <li>授業者の技能によって活用状況に差が生じている。</li> <li>生成AIやチャットGPTなどインターネット環境の変化に伴うルールづくりなどの対応が求められている。</li> <li>インターネット環境の進歩に伴う環境整備や教職員の研修が求められている。</li> </ul>					
住民との協働や他課の事業との連携	企画財政課(校務用パソコン及びGIGAスクール構想に基づく児童生徒へのタブレット維持に係る予算措置)					

## 2. 事務事業の取組

(単位:千円)

事務事業名	令和4年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)	事業費
① ICT教育環境整備事業	○全児童生徒に貸与したタブレットの保守・整備を行った。 ○全校で学習e-ポータル(L-Gate)を導入し、効果的な活用をした。	【取組への課題】 ・国のGIGAスクール構想に基づく、1人1台タブレット導入やオンライン授業システムの構築後の具体的運用及び各校における効果的な活用を検討する。 ・インターネット環境とタブレット端末の整備について、使用しているソフトに合わせ、定期的な点検と見直しを図る。	R2 決算 135,585
			R3 決算 32,300
	○ICT支援員を配置し、児童生徒に対して操作方法の支援を行ったり、教職員に対してICT活用研修会や授業活用の支援を行った。	【課題を踏まえ今後の対応】 ・一人一台タブレットを授業で効果的に活用することができるよう教職員を対象とした研修会を開催する。 ・ICT環境整備に係る契約をした内田洋行との綿密な打ち合わせ、教育委員会内の連携及び情報共有、不具合・トラブル等への対応を行う。 ・家庭への持ち帰りにおけるタブレット端末の管理方法の周知をする。	R4 予算 37,161
			R4 決算 37,092
合計			R2 決算 135,585
			R3 決算 32,300
			R4 予算 37,161
			R4 決算 37,092

## 学識経験者の意見（基本方針（I）について）

### 【施策名：教育施設の充実】

○各学校の校舎は、かなりの年月を経過していますが、大規模改修など実施され、施設の維持保全に力を入れていただき、児童生徒にとって、よりよい学びの環境が整ってきていると感じています。その中で、体育館に設置された冷風機も効果はあると思いますが、暑い時期は、さらに冷やせるエアコン設備が必要になるのではないかと感じました。予算も関わることですが、整備していただけると子供たちもより安全に過ごせると思います。

○布鎌小学校のグラウンド周りのカイツカイブキを伐採したことがあり、その当時は、下水道処理場に仮置きし、その後処理を行うことができましたが、現在はそれができません。校庭整備に係る処理費用についてご検討いただくと有難いと思います。体育館の北側にあるカイツカイブキもかなり成長していますので、伐採後の処理費用についてもご配慮をお願いします。

○安食小学校のサマーレクリエーションで、体育館を利用し、大型冷風機を使わせていただきました。先生からは「冷風機は高さがあるので壁側にしか置けない」と説明がありました。体育館の一番前と一番後ろに置いて使用しましたが、子供たちは中央で遊ぶため風があまり届きませんでした。大型冷風機は、水を使って利用するので、その水を継続して使うことは衛生的に大丈夫なのでしょうか。災害時も利用するとのことで、大型冷風機を入れたと思うのですが、子供たちや先生方のことを考えた場合、エアコン設備の導入をされたほうがよいと思いました。

### 【施策名：給食施設の充実】

○新給食センターの建設について、建設用地が浸水想定区域内にあり、盛土工事を予定しているとのことです。新給食センターの今後の見通しについて教えてください。また、現在の給食センターは、劣化した部分の改修など今後も費用がかかると思います。できるだけ早い時期に稼働できれば町の財政も助かるのではないかと思います。盛土工事も時間がかかることなので難しいところではありますが、子供たちのためになるべく早期の実現に向けてお願いしたいと思います。

○新給食センターの建設は、子供たちの安心安全のためにも、基準の整った新しい設備で給食を作っていただくことは理想であり課題でもあると思いますのでよろしく願いいたします。

○安食小学校は、令和5年2月に創立150周年を迎えました。その際、子供たちに記念のお菓子を配布しました。子供たちのアレルギーについて養護の先生に確認したところ、しっかり把握されていました。普段は聞きなれない青魚アレルギーやナッツアレルギーなど色々なアレルギーをもつ子供がいるということを知りました。「この子はここまで食べられる、ここまではお家の方から聞いています」などの確に答えられて、私としては安心して注文をさせていただき、子供たちに配ることができました。養護の先生、担任の先生がアレルギーについてよく把握されていて、給食センターとの連携もとれているので、児童に安全安心な食事を提供できていることは素晴らしいことだと思っています。アレルギーで命を落とすこともあるので、今後も管理を徹底していただけて子供たちを守っていただきたいと思います。

## 【施策名：教育のICT化の推進】

○「施策全体の達成度」が「目標を達成」ということですが、「成果指標及び実績」をみると「目標値250授業」に対し「実績値が4,250」であり、素晴らしい成果であると思いました。目標値は以前から決まっているものなので、令和3年度の実績値もかなりの数字が出ています。タブレットを使った授業方法についても、アプリやソフトを駆使されていると思います。子供たちに、よりよいICT環境を整備するため、予算を措置していただき、有益に使えるソフトを活用していただけたらよいのではないかと思います。

○タブレットが導入されてから3年～4年になると思います。先日、子供たちがタブレットを使っている授業を参観させていただきました。子供たちが見事に使いこなしているのを見て素晴らしいと思いました。学年が上がるごとに使い方が上手だと思いました。1年生は入学してからすぐなので使えなくて当たり前ですが、2年生が「こうやって使うよ」と教えてくれました。放課後教室に来ている1年生から3年生は宿題もタブレットを活用し、上手に使っていました。先生方のご指導もあると感じられました。タブレットを雑に扱っている子供もいると思いますが、故障してしまったタブレットはありますか。故障したタブレットがある場合、予算の措置はどのようにされていますか。

## 学識経験者からの意見を受けた今後の取組について

教育課より

### 【施策名：教育施設の充実】

○学校の校庭整備のための伐採に係る処理費用について

令和5年度については、伐採に係る処理費用の予算確保ができました。今後についても、校庭整備に係る処理費用の予算を確保できるよう努めてまいります。

○各学校体育館へのエアコン設備の導入について

全国的にも小中学校の体育館等のエアコン設置率は11.9%と低い状況ですが、昨今の温暖化により、特に夏季期間は熱中症にかかってしまう危険性が高いこと、また、体育館は避難所として指定されていることなどを踏まえ、補助金等を活用し、エアコンの導入について検討していきたいと考えております。

### 【施策名：給食施設の充実】

○新給食センター建替に係る今後の見通しについて

現在、給食センター建替に係る盛土造成の実施設計業務委託を発注しております。その結果を基に、工法や概算事業費が算出され、今後の予定を計画していくものです。工期は盛土の工法により変わりますが、令和9年度、令和10年度を目標に給食センター建替えを完了する予定です。

### 【施策名：教育のICT化の推進】

○授業で使用しているタブレット端末の故障状況と対応について

学校には数台予備機があり、緊急時には交換し対応しております。ただ、ご意見をいただいたとおり、修繕費が高額であり、令和5年9月末現在、3件の修繕があり、修繕費として22万円を補正予算において計上し対応させていただきました。

来年度以降、修繕費については、経年劣化などでさらに増えてくることが予想されます。子供たちに不利益がないよう、予算措置をしっかりと行い対応していきたいと考えております。

タブレット端末の保険については、端末の導入当初から加入していない場合、途中から加入することができないことから、現在は加入しておりません。

今後の対応として、令和7年6月にタブレット端末の入替を予定しており、その際にどのような保険に加入し保守整備を行っていくのかなど調査研究をしています。

基本方針（Ⅱ） みんなが一体となって栄っこを育成する教育を推進します。

創意と活力のある教育活動の中で、基礎・基本の習得及び思考力・判断力・表現力の育成、並びに望ましい勤労観・職業観の育成を図るキャリア教育を充実させ、個性を活かすきめ細やかな学校教育を推進します。

【施 策 名】

- ・特色ある学校づくりの支援・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 0 ・ P 1 1
  - ・きめ細かな学校教育の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 2 ・ P 1 3
  - ・学力向上の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 4 ・ P 1 5
  - ・教育行政の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 6 ・ P 1 7
- 学識経験者の意見・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 8～P 2 0
- 学識経験者からの意見を受けた今後の取組について・・・ P 2 1 ・ P 2 2



# 施策評価シート

## 1. 施策の情報整理

施策名		特色ある学校づくりの支援						
現状と課題		国際化、情報化、科学技術の発展、環境問題への関心などが高まり、また、町では、人口減少とともに少子化による児童生徒数の減少が予測される。そのような状況の中、たくましく生きていく人材を育てるためには、豊かな人間性を育むとともに、一人ひとりの個性を生かし、その能力を十分に伸ばすことが必要になってくる。そのためには、学校の教育活動全体を、児童生徒の個性を生かせるような創造的で柔軟なものにしていく必要がある。町では、令和2年度中に、働き方改革の一助として、教職員用校務支援システムを導入するとともに、児童生徒に、国のGIGAスクール構想に基づき、一人一台タブレットを整備した。これらを活用しながら、各学校が児童生徒や地域の実態を十分に踏まえ、また、学校と地域が一体となり、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開することにより、一人ひとりの個性を生かした生きる力を育む教育が可能になる。						
目指す成果		望ましい学校教育のために、保護者や地域住民が学校運営に参加することにより、各小中学校の特色ある学校づくりが推進されている。また、教職員の働き方改革を進めることによって、教職員が児童生徒一人ひとりへ対応する時間が増え、教職員の児童生徒への指導力の維持向上が図られている。学校・保護者・地域が一体となり、多くの目で児童生徒を見守り、支援することにより、児童生徒が生き生きと学習に取り組むことができ、将来に対するビジョンを持つことができている。						
施策の 情報 整理	成果指標及び実績	指標	教育振興基本計画 策定時の現状値 (平成29年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度 教育振興基本計画 最終年度	目標数値 (教育振興基本計画)の説明	
		児童生徒へのアンケート	小 85%	目標値 90%	実績値 73%	目標値 90%	実績値 69%	学校生活アンケートによる「将来に対するビジョンを持つことができている」児童生徒の割合
			中 74%	目標値 82%	実績値 72%	目標値 85%	実績値 72%	
		学校評議員へのアンケート	—	目標値 70%	実績値 83%	目標値 80%	実績値 100%	学校評価アンケートによる「保護者地域住民が参画した『特色ある学校づくり』を推進している」と感じた割合
施策全体の達成度 (★★★)	★★	目標を達成(100%) 目標をほぼ達成(80%以上) 目標を達成していない 現時点では判定できない	★★★★ ★★★ ★★ —	施策の事業費 (上段:最終予算) (下段:決算額)		43,107 千円 42,311 千円		
達成度の理由		令和4年度は、新型コロナウイルス感染症に留意した「新しい生活様式」のもと、学校教育活動が展開され、小学生においては、将来的なビジョンが広がってきている。一方、中学生は、徐々に達成度が低下してきていることから、物価高騰をはじめとする社会情勢の不安定さから、将来的な見通しが不透明で進路や将来について不安が残る現状を反映していると考えられる。「With コロナ」の考え方の基、コロナ以前の教育課程や行事に近づけることを意識し、学習活動、学校行事等の教育活動が行われた。学校・保護者・地域も一体となり、児童生徒の支援を行った。また、学校は学校評議員等を通じて、地域住民の意向を反映した開かれた学校づくりを実践でき、特色ある学校づくりが推進されている。これらにより総合的に見て、「目標をほぼ達成」と判断した。						
設定成果指標 以外に現れた 成果の説明		教職員用校務支援システムを導入し、諸表簿の一元管理、各種記録等の情報共有、文書の配付、提出などに成果を上げているところである。今後、教職員の働き方改革に一層寄与するため個々が活用できるよう、さらなる支援を行う必要がある。また、教員アシスタント職員をより一層効果的に活用することにより、教職員の事務負担を軽減し、より充実した学習指導が行えるよう支援していく必要がある。						
外部環境の変化や 住民ニーズの変化など、 今後、課題と対応が予 測されるもの		各地域におけるふれあい推進員を含めたPTA組織・地域の活動力の維持 学校運営協議会制度(コミュニティスクール)の推進について 部活動の地域移行に係る地域との連携						
住民との協働や他課の 事業との連携		地域学校協働本部及びふれあい推進員等による放課後ふれあい教室等、学校と地域が一体となり、地域ぐるみで子供を育む体制が確立している。 通学路の危険箇所の確認を都市建設課、印旛土木事務所、警察署、地域ボランティア、各学校教職員と共同して行った。						

## 2. 事務事業の取組

(単位:千円)

事務事業名	令和4年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)	事業費	
① スクールバス運行事業	○統合により遠距離の通学となった児童生徒が安全に通学できるよう、スクールバスの運行継続。 ・小中学校共に登下校時2便の運行 安食台小学校 旧北辺田小学校区:マイクロ 旧酒直小学校区:中型 栄中学校 旧竜角寺台小学校区:大型 マイクロ 旧酒直小学校区:中型 ○運行委託(田中観光株式会社) ・スクールバス運行回数 通常運行 197日 休日運行 127日 校外学習 40台 プール送迎 なし 布鎌小送り 139台 他課利用 なし ○借上バス マイクロ8台 中型10台 大型12台 ○通学路点検(10月・2月の年間2回実施)	【取組への課題】 ・スクールバスの安全運行を確保する。 ・運行計画表の変更に伴う、学校・教育委員会・委託業者との連絡調整の徹底を図る。 ・スクールバスの老朽化が進んでいるため、委託のあり方を検討する。	R2 決算	9,669
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・スクールバスの安全運行については、教育委員会、学校、委託業者との連絡調整を密にし、運行時間の調整、運行ルートの精査等を実施し、適正かつ安全な運行を行っていく。 ・通学路の安全を確保するため、バス運行の視点も加味した通学路点検を実施し、危険箇所の確認を行い安全対策を講じていく。	R4 予算	15,153
			R4 決算	14,667
② 教員アシスタント職員活用事業	○教職員の長時間勤務環境を是正し、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保するため、教員アシスタント職員を全校に1名配置した。 ※ 事業費に教員アシスタント職員の賃金等は含まない	【取組への課題】 ・教職員のアシスタントとなるため、教職員の勤務時間と同様となるよう、教員アシスタント職員の勤務時間の調整が必要である。	R2 決算	5,184
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・6時間勤務から7時間45分勤務などに時間を延長できるよう町企画財政課へ要望するとともに、1日6時間の勤務時間の範囲内で、各学校に応じた対応ができるよう学校と調整する。	R4 予算	7,406
			R4 決算	7,254

③ 校務支援ICT活用事業	<p>○教職員の校務作業の負担を減らし、子供と向き合う時間を確保するため、コンピュータを使った校務支援の活用を行っている。</p> <p>全123台            県費負担教職員用 113台            学校支援職員用 10台</p>	<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R2に導入した校務支援システムの活用にあたり、教職員の負担軽減や児童生徒の学力向上につなげられるかが課題である。</li> <li>・「校務支援ICT活用事業」「GIGAスクールネットワーク整備事業」として、教職員一人ひとりへ新たな校務支援システムを導入したPCや各教室用及び児童生徒一人一台授業用タブレットを導入した。今後は導入したものを効果的に活用し、教職員の負担軽減や児童生徒の学力向上につなげられるかが課題である。</li> </ul>	R2 決算	14,275
		<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校務支援ICTの導入により、教職員の校務作業の負担を減らせるよう積極的に活用する中で、子供と向き合う時間を確保するため、コンピュータを使った校務支援処理を実施する。</li> <li>・授業用タブレットを積極的かつ効果的に活用し、児童生徒の学力向上のため、教職員を対象とした研修会を各校で実施するとともに、情報主任研修会を通してタブレット活用スキルの向上に向けた情報を校内で共有する。</li> <li>・内田洋行のICT支援員を配置するとともに、町内支援員を配置し、PCの積極的活用を支援する。</li> </ul>	R3 決算	19,034
		<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校安全指導業務を通じて交通安全指導を行っているが、千葉県内では小中学生の交通事故や犯罪に巻き込まれる事例が発生しているため、指導を工夫していく必要がある。</li> <li>・ゲストティーチャーによる地域の特色を活かした体験学習等がコロナ前に比べて減ってしまった。コロナ禍でも地域のゲストティーチャーによる学習ができるよう新たな取組を各校において検討した。</li> </ul>	R4 予算	19,034
		<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用しコロナ禍でも地域のゲストティーチャーと連携した新たな取組ができるか検討していく。また、各校で依頼しているゲストティーチャーの情報や生涯学習課と人材情報の共有により、各校の様々な活動について支援する。</li> <li>・不審者事案にあったときは、躊躇なく警察に連絡するように周知するとともに、警察・交番・駐在所・防犯パトロール・地域防犯グループなどに、巡回を依頼する。また、「栄町ながら見守り隊」の継続的活動を推進し、地域での防犯体制の強化を図る。</li> <li>・交通安全指導の際、事故発生場所や発生形態について、より具体的に児童生徒に伝える。</li> <li>・学校評議員の意見に対する学校の対応について、教育委員会が状況を把握し、必要な措置を講ずることで、保護者や地域住民の意向を反映し、開かれた学校運営に努めていく。</li> <li>・学校運営協議会への対応も並行して行った。</li> </ul>	R4 決算	19,034
④ 地域人材等の活用事業	<p>○学校評議員設置業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評議員を各校に配置をした（1校あたり5名以内）</li> </ul> <p>○地域住民による学校支援推進業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民による教育活動の充実のための学校支援（ゲストティーチャーなど）の推進をした。</li> <li>・安食小学校 8名（1回）地域ミニ集会アドバイザー</li> <li>・布鎌小学校 5名（5回）ドラ豆栽培指導、ザリガニ釣、茶道クラブ指導、相撲講習会講師</li> <li>・安食台小学校 2人（2回）外国文化の学習、キャリア教育（農家の仕事講話）</li> <li>・竜角寺台小学校 学校地域支援本部事業や学校独自のボランティアを活用して同様の取組を行った。</li> </ul> <p>○教育振興支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育振興会へ補助金を交付し、学校活動の支援をした。</li> </ul> <p>○学校安全指導業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新1年生を迎えた1学期に各小学校で、交通安全教室及び防犯教室を開催した。</li> </ul> <p>○学校運営の支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校に学校用務員（会計年度任用職員）の配置をした。</li> </ul> <p>※ 事業費に学校用務員の賃金等は含まない</p>	<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全指導業務を通じて交通安全指導を行っているが、千葉県内では小中学生の交通事故や犯罪に巻き込まれる事例が発生しているため、指導を工夫していく必要がある。</li> <li>・ゲストティーチャーによる地域の特色を活かした体験学習等がコロナ前に比べて減ってしまった。コロナ禍でも地域のゲストティーチャーによる学習ができるよう新たな取組を各校において検討した。</li> </ul>	R2 決算	1,548
		<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用しコロナ禍でも地域のゲストティーチャーと連携した新たな取組ができるか検討していく。また、各校で依頼しているゲストティーチャーの情報や生涯学習課と人材情報の共有により、各校の様々な活動について支援する。</li> <li>・不審者事案にあったときは、躊躇なく警察に連絡するように周知するとともに、警察・交番・駐在所・防犯パトロール・地域防犯グループなどに、巡回を依頼する。また、「栄町ながら見守り隊」の継続的活動を推進し、地域での防犯体制の強化を図る。</li> <li>・交通安全指導の際、事故発生場所や発生形態について、より具体的に児童生徒に伝える。</li> <li>・学校評議員の意見に対する学校の対応について、教育委員会が状況を把握し、必要な措置を講ずることで、保護者や地域住民の意向を反映し、開かれた学校運営に努めていく。</li> <li>・学校運営協議会への対応も並行して行った。</li> </ul>	R3 決算	1,474
		<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全指導業務を通じて交通安全指導を行っているが、千葉県内では小中学生の交通事故や犯罪に巻き込まれる事例が発生しているため、指導を工夫していく必要がある。</li> <li>・ゲストティーチャーによる地域の特色を活かした体験学習等がコロナ前に比べて減ってしまった。コロナ禍でも地域のゲストティーチャーによる学習ができるよう新たな取組を各校において検討した。</li> </ul>	R4 予算	1,514
		<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用しコロナ禍でも地域のゲストティーチャーと連携した新たな取組ができるか検討していく。また、各校で依頼しているゲストティーチャーの情報や生涯学習課と人材情報の共有により、各校の様々な活動について支援する。</li> <li>・不審者事案にあったときは、躊躇なく警察に連絡するように周知するとともに、警察・交番・駐在所・防犯パトロール・地域防犯グループなどに、巡回を依頼する。また、「栄町ながら見守り隊」の継続的活動を推進し、地域での防犯体制の強化を図る。</li> <li>・交通安全指導の際、事故発生場所や発生形態について、より具体的に児童生徒に伝える。</li> <li>・学校評議員の意見に対する学校の対応について、教育委員会が状況を把握し、必要な措置を講ずることで、保護者や地域住民の意向を反映し、開かれた学校運営に努めていく。</li> <li>・学校運営協議会への対応も並行して行った。</li> </ul>	R4 決算	1,356
⑤ 栄っこ宣言の推進	<p>○「栄っこ宣言」にある、5つの行動規範を心の糧として夢に向かってがんばり、ふるさと「栄町」を愛する心を育てていくため、学校行事や集会活動の際に啓発をした。</p>	<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内にある幼稚園、保育園、栄特別支援学校、小中学校の連携を視野に入れた取組を推進していく必要がある。</li> </ul>	R2 決算	99
		<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内幼稚園・保育園、栄特別支援学校へ「栄っこ宣言」の掲示物を配付し、各園、学校での周知を依頼することにより、「栄っこ宣言」の行動化に向けた一層の推進を図る。</li> <li>・各小中学校の全児童生徒が「栄っこ宣言」の唱和实施することで、具体的な行動へと発展させていく。</li> </ul>	R3 決算	0
		<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内にある幼稚園、保育園、栄特別支援学校、小中学校の連携を視野に入れた取組を推進していく必要がある。</li> </ul>	R4 予算	0
		<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内幼稚園・保育園、栄特別支援学校へ「栄っこ宣言」の掲示物を配付し、各園、学校での周知を依頼することにより、「栄っこ宣言」の行動化に向けた一層の推進を図る。</li> <li>・各小中学校の全児童生徒が「栄っこ宣言」の唱和实施することで、具体的な行動へと発展させていく。</li> </ul>	R4 決算	0
合 計			R2 決算	30,775
			R3 決算	39,041
			R4 予算	43,107
			R4 決算	42,311

# 施策評価シート

## 1. 施策の情報整理

施策名	きめ細かな学校教育の推進					
現状と課題	<p>栄町では、「学校教育」を進める上で、「知」「徳」「体」のバランスのとれた「生きる力」の育成を目指している。学校・家庭と地域及び子供たちが「みんなで支え、共に伸びる教育」を柱とし、子供たちが変化の激しい社会をたくましく生きていけるよう、基礎・基本の定着を図り確かな学力を習得させるとともに、地域の特性を生かした体験活動を充実し、個に応じたきめ細かな指導を推進してきた。</p> <p>自ら学ぶ意欲を身に付けた心豊かでたくましい子供を育てるためには、学校支援教員や介助員を活用したきめ細かな教育の展開や家庭や関係機関との連携による心の教育の充実、教職員の指導力向上などが求められている。</p>					
目指す成果	一人ひとりの個性を生かす教育を充実することによって豊かな心を持ち、社会の変化に対応するたくましく生きる児童生徒を育成することができている。					
成果指標及び実績	指標	教育振興基本計画 策定時の現状値 (平成29年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度 教育振興基本計画 最終年度	目標数値の説明
		小 —	目標値 80%	目標値 90%	目標値 90%	
	教職員へのアンケート	小 —	実績値 83%	実績値 82%	実績値 85%	学校生活アンケートによる「小中 が連携して児童生徒を育成する ことができていると感じている」教 職員の割合
		中 —	目標値 70%	目標値 85%	目標値 90%	
	児童生徒への到達度アンケート	小 74%	実績値 59%	実績値 28%	実績値 66%	学校生活アンケートによる「自分 にはよいところがあると思う」児 童生徒の割合
		中 80%	目標値 82%	目標値 86%	目標値 90%	
小 74%		実績値 66%	実績値 60%	実績値 69%		
中 80%		目標値 86%	目標値 90%	目標値 90%		
施策全体の達成度 (★★★★)	★★	目標を達成(100%) ★★★★ 目標をほぼ達成(80%以上) ★★★ 目標を達成していない ★ 現時点では判定できない —	施策の事業費 (上段:最終予算) (下段:決算額)		2,083 千円	
					2,027 千円	
達成度の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による規制が緩和してきたものの、多くの学校行事が、新型コロナウイルス感染症拡大前の規模より縮小して実施されることとなった。</li> <li>町主催の小中連携プロジェクト会議や小中学生指導会議等については、令和3年度は実施することができなかったが、令和4年度は小規模ながら実施した。そのことで、中学校の教職員の意識が向上したと考える。しかし、小中ともに目標値を達成するには、十分な機会や時間を確保することができなかった。内容を精査し、短時間で効果的な研修等の工夫が必要であったと思われる。</li> <li>規制緩和が進み、様々な活動が再開されるようになってきているが、時間短縮や縮小などの制約が多く、児童生徒の満足感を十分に引き出すことができなかったと考える。</li> <li>スクールカウンセラーや教員アシスタント職員、学校支援教員、介助員、学校図書館司書の配置は引き続き計画的に実施され、チーム学校として協力連携して、業務を遂行することができた。</li> </ul> <p>これらにより、きめ細かな学校教育が推進されていることから「目標をほぼ達成」と判断した。</p>					
設定成果指標以外に現れた成果の説明	<p>教員アシスタント職員、学校支援教員、介助員、学校図書館司書の配置により、本務教職員の校務負担が軽減され、教職員の児童生徒に向き合う時間の確保、学習指導準備等の時間の増加など、働き方改革につながり、結果として児童生徒への指導が充実して行えるようになった。</p> <p>学校図書館の蔵書については、標準冊数を維持することとなり、児童生徒の読書活動の充実が図られている。</p>					
外部環境の変化や住民ニーズの変化など、今後、課題と対応が予測されるもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事の精選と内容の工夫改善</li> <li>学習環境と教職員の「授業力」の向上</li> <li>特別支援教育に関するニーズの高まりときめ細かな対応</li> <li>スクールカウンセラーの必要性の高まり</li> </ul>					
住民との協働や他課の事業との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>総務政策課(会計年度任用職員(教員アシスタント職員、学校支援教員、介助員、学校図書館司書等)の配置)</li> <li>福祉・子ども課(生活保護世帯対象のサポート塾に生活困窮対象生徒が参加する個別の学習支援)</li> </ul>					

## 2. 事務事業の取組

(単位:千円)

事務事業名	令和4年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)	事業費		
① 不登校相談・支援推進事業	<p>○教育相談体制整備業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談体制として教育相談員、小学校スクールカウンセラーを配置し、各校平均月1日のカウンセリングを行った。</li> <li>○教育支援センター運営事業</li> <li>「ゆうがく館」に小学生2人、中学生6人が通所した。</li> </ul> <p>ゆうがく館は、学校適応専門官を配置し、不登校児童生徒への登校刺激や指導に当たるとともに、家庭訪問の実施や保護者との面談等による連携を行った。</p> <p>また、教育支援センター指導員を配置し、不登校児童生徒に対する指導、相談及び集団適応支援を行った。</p> <p>土曜日開館については、事前に希望をとり、対応した。</p>	<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不登校対策として小中学校とゆうがく館との情報共有や連携の強化をする。</li> <li>様々なケースがあるため、教育支援センターにつなぐことができていない児童生徒への支援が行き届くような職員の配置を検討する必要がある。</li> </ul>	R2 決算	217	
		<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校適応専門官による学校、児童生徒、ゆうがく館、家庭等支援をする。</li> <li>スクールカウンセラーを小学校4校に1人継続的な配置をする。</li> <li>アウトリーチ型の長欠児童生徒対策については、学校適応専門官が家庭訪問を行い、児童生徒や保護者の支援が直接できるようにする。</li> <li>不登校対策にかかる専門員の配置について検討する。</li> </ul>	R3 決算	126	
				R4 予算	139
					R4 決算

②	個に応じた授業を推進するための教員の配置	<p>○指導法改善推進業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校4校に学校支援教員(6人)を配置した。</li> </ul> <p>○特別支援教育整備業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校3校に5人、中学校に2人の介助員を配置した。</li> </ul> <p>○教育支援委員会運営業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援委員会を年間2回開催し、適正な就学支援を行った。</li> </ul> <p>○特別支援教育巡回相談員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を要すると思われる児童生徒の発達検査を実施し、専門的な知見から支援に対する助言を行った。</li> </ul>	【取組への課題】	R2 決算	116
			・特別な支援を必要とする児童生徒が年々増えていることから、就学相談・就学指導を適切に行うとともに、介助員の勤務時間の増加についても検討する。	R3 決算	119
			・インクルーシブ教育システム構築のための教職員における研修を推進し、児童生徒にとってもわかりやすい授業づくり、環境づくりを目指す。	R4 予算	199
			・町内の教職員の指導力向上のため、小・小、小・中連携を強化していく。	R4 決算	147
③	読書活動支援の充実	<p>○各小中学校に、学校図書館司書を週あたり2日配置し、児童生徒の読書活動の支援に取り組んだ。内容は本の充実だけでなく、図書室の運営、環境整備も行い、児童生徒にとって通いやすい場所の提供につながった。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用により、学校図書館の蔵書がほぼ標準冊数となり、児童生徒の読書活動の充実が図られた。</p> <p>○安食小では、図書ボランティアの方々の協力による図書室支援を行うことができ、児童の読書活動の充実につなげることができた。</p>	【取組への課題】	R2 決算	2,396
			・学校司書として継続して勤務できる専門性の高い人材確保が課題である。	R3 決算	2,689
			・ほぼ標準冊数となった各学校の学校図書館の蔵書の適切な管理と、効果的な活用が課題である。	R4 予算	1,745
			・定期的な蔵書点検を行うための時間の確保をする。	R4 決算	1,745
合計			【課題を踏まえ今後の対応】	R2 決算	2,729
			・保護者の意向を踏まえた就学相談業務、就学指導について適切に対応していく。また、学校、教育委員会の役割を明確化するとともに、特別支援学校も含めた3者間の連携を密にし、児童生徒の状況に応じた就学支援を行っていく。	R3 決算	2,934
			・特別支援教育の教育課程、個別の指導計画、個別の教育支援計画の更なる充実を図る。	R4 予算	2,083
			・小中連携プロジェクトにより、栄町教職員全体での共通課題を持ち、小・小及び小・中連携を推進していく。	R4 決算	2,027
			【課題を踏まえ今後の対応】	R2 決算	2,729
			・児童生徒の学習意欲向上のため、学校図書館司書を継続して配置する。	R3 決算	2,934
			・学校図書館司書の研修会や交流会を企画し、図書室の環境などを相互に高めあう環境をつくる。	R4 予算	2,083
			・学校図書館と町図書室をつなぐ、コンピュータシステム等の導入により、適切な蔵書管理や効果的な学校図書の活用を図る。	R4 決算	2,027

# 施策評価シート

## 1. 施策の情報整理

施策名		学力向上の推進						
現状と課題		<p>栄町では、「教育」を進める上で、「知」「徳」「体」のバランスのとれた「生きる力」を育成している。学校・家庭と地域及び子供たちが「みんなであげ、共に伸びる教育」を学校教育の方向性として位置づけ、子供たちが変化の激しい社会をたくましく生きていけるよう、基礎・基本の定着を図りながら学力を習得させるとともに、地域の特性を生かした体験活動を充実し、個に応じたきめ細かな指導を推進してきた。自ら学ぶ意欲を身につけた心豊かでたくましい子供を育てるためには、各種の学力向上事業の推進により、基礎基本の知識技能に加え、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度や能力といった学力を確実に育成することが求められている。</p>						
目指す成果		基礎・基本を定着させ、思考力・判断力・表現力を伸ばす教育が充実することによって、グローバル化等、社会の変化に主体的に対応できる人材を育成することができている。						
施策の情報整理	成果指標及び実績	指標	教育振興基本計画策定時の現状値(平成29年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度教育振興基本計画最終年度	目標数値の説明	
		授業がわかる児童生徒の割合	小 85%	目標値 90%	実績値 91%	目標値 90%	実績値 86%	学校生活アンケートによる「授業がわかると感じている児童生徒」の割合
			中 74%	目標値 85%	実績値 91%	目標値 85%	実績値 77%	
		家庭学習に毎日取り組む児童生徒の割合	小 72%	目標値 80%	実績値 82%	目標値 85%	実績値 74%	学校生活アンケートによる「家庭学習に毎日取り組む児童生徒」の割合
			中 67%	目標値 75%	実績値 85%	目標値 80%	実績値 68%	
		施策全体の達成度(★★★)	★★	目標を達成(100%) ★★★ 目標をほぼ達成(80%以上) ★★ 目標を達成していない ★ 現時点では判定できない —	施策の事業費(上段:最終予算) (下段:決算額)		3,925 千円	3,159 千円
	達成度の理由	<p>・令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の対策を実施しながら工夫した教育活動も多くみられ、タブレットを活用した学習や、基礎学力向上に向けた取組ができた。しかし、話し合い活動など、児童生徒がコミュニケーションを取り合いながら行う学習についてはまだ制約も多く、十分な取組ができなかったこともあり、中学校において「授業がわかると感じている児童生徒の割合」の低下につながったものと考えられる。</p> <p>・わくわくドラムについても新型コロナウイルス感染症対策をとり、開催したところ児童生徒の積極的な参加が見られた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、年間を通してすべての日数を実施することができなかった。これらのことから「目標をほぼ達成」と判断した。</p>						
	設定成果指標以外に現れた成果の説明	<p>新型コロナウイルス感染症対策を十分実施した中での取組が行われてきたが、児童生徒も、各種行事の中止や縮小、これまでの生活と異なった学校生活となったが、「新しい学校の生活様式」にも慣れてきており、集中して学校生活に取り組むことができ、意欲的な学びにつながったと考える。</p>						
	外部環境の変化や住民ニーズの変化など、今後、課題と対応が予測されるもの	<p>・学習環境と教職員の「授業力」の向上                  ・児童生徒が、自ら課題を見つけ、家庭学習に取り組むことができるような支援                  ・家庭との連携による家庭学習の充実、家庭での持ち帰りタブレットの効果的活用と保険対応</p>						
	住民との協働や他課の事業との連携	<p>・福祉・子ども課、生涯学習課(学校を通じて提出された要保護準要保護の申請書をもとに、情報交換を行った。)</p>						

## 2. 事務事業の取組

(単位:千円)

事務事業名	令和4年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)	事業費	
① わくわくドラム推進事業	<p>○栄フューチャースクール(わくわくドラム)事業                      学力と学習意欲の向上に向けた学習道場の推進                      休業中の児童生徒の家庭学習の習慣づけに寄与するとともに、基礎基本の充実、探究的学習への意欲づけを図ることができた。</p> <p>・サタデーわくドラ…新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全20回予定中、15回開催。児童生徒73名参加 ボランティア73名参加</p> <p>・ウィンターわくドラ…冬季休業中に3回開催。児童生徒76名参加 ボランティア58名参加</p> <p>・サマーわくドラ…新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全10回予定中、2回実施。児童生徒171名参加 ボランティア102名参加</p>	<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年、学校により、県学力検査の県平均を上回っていない教科がある。</li> <li>・教職員の授業力向上のための研修を一層推進する。</li> <li>・支援して下さる協力員の確保をする。</li> </ul> <p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県学力検査の落ちている領域を明らかにし、計画的に取り組んでいく。</li> <li>・小学校低学年から支援する体制の必要性について議論していく。</li> <li>・小中連携教育の中で、「自分の言葉で学習のまとめ・振り返りを書く」活動を位置づける。</li> <li>・年間を通して、「わくドラ」として栄フューチャースクールを維持・発展させるためのボランティアスタッフの確保と研修を行う。</li> </ul>	R2 決算	1,035
			R3 決算	1,524
			R4 予算	1,906
			R4 決算	1,533

② 中学生海外派遣事業	<p>○栄町元気事業支援日本食研基金中学生海外派遣事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際理解教育の推進のため、町内の中学生をオーストラリア・メルボルン州へ派遣し、現地校での語学研修とホームステイ体験を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で実施ができなかった。</li> <li>・代替として、中学校と海外をオンラインでつなぎ、国際交流の場を設けた。</li> </ul>	<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったことが、翌年以降の中学生の意欲の低下につながるような取組が必要となる。</li> </ul> <p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSやICT等を活用して、現地の方々と交流を継続し、国際化社会で生きる生徒を育むとともに、海外派遣事業に参加できなかった他の生徒にも国際交流や異文化交流で培ったものを還元できる場を設定する。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策を講じた方法による実施に向けた準備を進めていく。</li> </ul>	R2 決算	0
			R3 決算	0
			R4 予算	0
			R4 決算	0
③ 外国語教育の推進	<p>○小中学校外国語教育推進業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校に外国語指導助手(ALT)を小学校2名、中学校1名を配置し、小学校外国語活動及び外国語、中学校英語指導の支援を行った。</li> </ul> <p>※事業費にALTの賃金等は含まない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校卒業時に英語検定3級以上の英語力を身に付けていることを目標とし、年間1回受検料の全額助成を行った。</li> </ul>	<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校外国語活動及び外国語科の充実を図る必要がある。</li> <li>・指導と評価の一体化のため、教師力の向上の必要がある。</li> <li>・国際化社会に生きる児童生徒の実現に向け、国の設定する目標「中学3年生の半数が英語検定3級相当の英語力を身に付ける」ために具体的な対策が必要である。</li> </ul> <p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの生徒が英語検定のより高い級を受験し、かつ合格できるよう、学習支援を行っていく。</li> <li>・小中の連携を深めるための教職員に対する研修会を実施する。</li> <li>・英検助成制度の周知を図り、上位級の取得に向け計画的に検定を受けることができるよう支援する。</li> <li>・中学校の全ての英語学習でALTがかかわった授業を実施することができるように、1名を増員する。</li> </ul>	R2 決算	793
			R3 決算	1,410
			R4 予算	2,019
			R4 決算	1,626
合計			R2 決算	1,828
			R3 決算	2,934
			R4 予算	3,925
			R4 決算	3,159

# 施策評価シート

## 1. 施策の情報整理

施策名		教育行政の推進					
現状と課題		町の人口減少とともに少子化による児童生徒数の減少や、長期にわたり新型コロナウイルス感染症の影響が予測される中、学校運営や教育活動など子供たちへの教育の影響の大きさが懸念される。児童生徒及び教職員がよりよい環境で学習することができ、安心して学校生活を送れるようにするための学習環境の整備が必要である。児童生徒が、健全育成のため物心両面にわたって必要な支援援助を受けることのできる体制を整備し、そのための手立てを講じる必要がある。					
施策の情報整理	目指す成果	児童生徒が学校生活に必要な援助が受けられるとともに、健康面における支援を受けられることにより、安心して学校生活が送れるようになっている。					
	成果指標及び実績	指 標	教育振興基本計画策定時の現状値(平成29年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度教育振興基本計画最終年度	目標数値の説明
		学習支援を充実させるための事業に対する苦情件数	0 件	目標値 0件 実績値 0件	目標値 0件 実績値 0件	目標値 0件 —	
	施策全体の達成度(★★★★)	★★★★	目標を達成(100%) ★★★ 目標をほぼ達成(80%以上) ★★ 目標を達成していない ★ 現時点では判定できない —	施策の事業費(上段:最終予算) (下段:決算額)		185,661 千円 175,694 千円	
	達成度の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立幼稚園保育料等補助金、私立幼稚園児副食費助成金について適正に執行することができた。</li> <li>・就学支援事業については、支援を望む保護者に対し、公平公正な調査と必要な支援を行うことができた。</li> <li>・教育委員会の所管事項の審議や報告について、教育委員会会議定例会を12回開催した。今後も円滑に教育行政を行えるよう適正な時期に会議(定例会、臨時会、委員協議会)を開催する。</li> <li>・私立幼稚園保育料等補助金の交付、支援を望む保護者への就学支援及び第3子以降給食費の無償化事業等の児童生徒の学校生活に必要な支援援助を行った。</li> </ul> これらの施策により、窓口や電話対応の苦情はなく教育行政が推進されていたことから「目標を達成」と判断した。					
	設定成果指標以外に現れた成果の説明	第3子以降の給食費の無償化や私立幼稚園保育料等補助金、私立幼稚園児副食費助成金の助成により、保護者が安心・安定して児童生徒、園児を登校、登園させることができた。事故なく給食の提供を行うことができ、児童生徒の健康増進に寄与している。					
	外部環境の変化や住民ニーズの変化など、今後、課題と対応が予測されるもの	学校、保護者と連携した、食物アレルギーを持つ児童生徒の確認と安全安心な給食の提供及びアナフィラキシーショックへの対応。					
住民との協働や他課の事業との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉・子ども課(私立幼稚園就園支援事業)</li> <li>・健康介護課(食育 歯科保健指導)</li> </ul>						

## 2. 事務事業の取組

(単位:千円)

事務事業名	令和4年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)	事業費	
① 私立幼稚園就園支援事業	○私立幼稚園保育料等補助金業務 世帯の所得に関係なく、国の幼保無償化に伴い、幼稚園に支払う保育料及び入園料について、月額25,700円を上限とした補助を行った。(町から幼稚園に直接補助することで保護者負担がなくなった)  ○私立幼稚園児副食費助成金業務 施設等利用給付認定保護者が支払うべき食事費(副食費)について、世帯の町民税所得割額の合計額が、77,100円以下の世帯に対し、申請により月額4,500円を上限に助成金の交付を行った。	【取組への課題】 ・特になし。	R2 決算	27,557
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・幼稚園の事業運営経費であることから、速やかに補助金の支給手続きを行う。	R3 決算	32,001
			R4 予算	33,247
		R4 決算	30,341	
② 就学援助事業	○要保護及び準要保護児童生徒就学援助業務 ・学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、教育委員会会議で認定を受け、必要な援助を行った。(4年度末現在 小学校12人 中学校20人)  ○特別支援教育就学奨励業務 ・特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、その負担の能力に応じ、就学に必要な援助を行った。	【取組への課題】 ○要保護及び準要保護児童生徒就学援助業務 認定基準では前年分の所得により判断しているが、生活状況が申請時の経済状況と必ずしも一致していない。	R2 決算	3,560
		【課題を踏まえ今後の対応】 ○要保護及び準要保護児童生徒就学援助業務 ・民生児童委員による聞き取りを踏み込んだ形で行ってもらうよう依頼するとともに、必要に応じて申請者と面接をするなどの確認をしていく。	R3 決算	4,165
			R4 予算	6,069
		R4 決算	4,716	

③ 学校給食センター運営事業	<p>○町内の児童生徒に対し、安全安心な給食を提供するため、給食運営事業を円滑に行った。5月1日現在 児童数690人 生徒数365人 実施回数: 192回</p> <p>○新型コロナウイルス感染症による学校の臨時休業に伴い食材等の調整を行い食品ロスの軽減に努めた。</p> <p>○布鎌小学校・安食小学校の児童に対し施設見学の受け入れを行った。</p> <p>○毎月アレルギー対象児童生徒の保護者に献立で使用するアレルギー食材について情報を発信し事故の防止に努めた。</p> <p>※令和5年3月分の賄材料分については、学校給食費負担軽減補助事業(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)を活用 賄材料費: 6,513千円</p>	【取組への課題】	R2 決算	121,715									
		・安全安心な給食を提供するため、施設の維持・管理・知識や情報の取得や共有など適切な運営に努める必要がある。	R3 決算	134,222									
		・事業の財源である学校給食費における未納者への対応。	R4 予算	146,345									
		【課題を踏まえ今後の対応】	R4 決算	140,637									
④ 第3子以降給食費の無償化事業	<p>○保護者の経済的負担の軽減及び子育て支援のため、第3子以降の給食費の無償化を実施した。</p> <p>第3子無償化による減免額</p> <table border="1"> <tr> <td>小学生</td> <td>93名</td> <td>4,451千円</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>26名</td> <td>1,352千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>119名</td> <td>5,803千円</td> </tr> </table> <p>※第3子無償化事業は減免事業のため、予算計上はなし。</p>	小学生	93名	4,451千円	中学生	26名	1,352千円	合計	119名	5,803千円	【取組への課題】	R2 決算	0
		小学生	93名	4,451千円									
		中学生	26名	1,352千円									
		合計	119名	5,803千円									
・特になし。	R3 決算	0											
【課題を踏まえ今後の対応】	R4 予算	0											
・学校を通じ本事業を周知するとともに、今後も継続実施する。	R4 決算	0											
合 計			R2 決算	152,832									
			R3 決算	170,388									
			R4 予算	185,661									
			R4 決算	175,694									

## 学識経験者の意見（基本方針（Ⅱ）について）

### 【施策名：特色ある学校づくりの支援】

○施策の指標「学校評議員へのアンケート」について、令和4年度の「目標値90%」は非常に高い目標値になっていると感じました。ここまで実績値を上げていくのは非常に大変だと思います。また、「児童生徒へのアンケート」を見て興味深いと思ったことは、令和4年度の中学生の実績値が66%で、前年よりも若干下がっています。令和3年度の小学生はあまり高くありません。想像ですが、令和3年度の6年生が次の年度に中学校に上がり、そのまま数値が移っているのではと推定できます。新型コロナウイルス感染症の影響で子供たちは将来のビジョンがとりにくいというところもあり、中学生の数値に反映されていると思いました。

○「児童生徒に将来に対するビジョンを持たせる」ということは非常に大事なことだと思っています。子供たちの夢を支援していくためには、地域の人材を活用し、支援ができる形がとれたらよいと思います。例えば、農家の方と子供たちが作物の育て方について一緒に取り組むことで、食物を育てる楽しさを体験し、将来は農業に就きたいなどという意識が芽生えてくるかもしれません。

○私は、安食小学校でふれあい推進員をしています。ふれあい推進員のメンバーはかなり高齢になってきています。推進員の方々は、放課後教室や他のボランティアもしていたり、ほとんど同じ方で活動をしています。これからの人材を育てていかないと、イベントなどの運営が立ち行かなくなるのではないかという危機感が強いです。今年の春、安食小学校で新しい人材を増やすため、マチコミメールで保護者の方に案内を出しました。「ボランティアを少しの時間を利用してやりませんか」という内容でしたが、教育委員さん、本部役員さんと私、教頭先生の4名の登録でした。新しい人材が増えない状況です。保護者の協力も得られるように町の支援をお願いします。現在は、横の繋がりもなく、他校の情報がわからないことから、他の学校の保護者の方と出会える場を作っていただくことで、ふれあい推進員など各学校のメンバーも増えるのではないかと思います。高齢化の問題を解決しないと、未来に対するビジョンを維持することができないと思っています。

○布鎌小学校の放課後ふれあい教室では、年に1回または年度末に関係する方々の間で意見交換をしています。支援者を求めても、皆さんがそこへ目を向けてくれるかというところが難しいです。PTAの方にも、時々声かけをしているのですが難しいのが現状です。限られた方で運営をしていくという形になっています。常に参加していただける方は3名いますが、ほとんどが元先生です。メンバーとも話をしていますが「自分たちも高齢化してきているのでいつまでやれるか」とのことで、後継者をどのように作っていくかが課題となっています。子供たちのためには必要な部分なので考えていかなければならないと思います。

### 【施策名：きめ細かな学校教育の推進】

○新型コロナウイルス感染症の影響がある中、先生方は、令和4年度もご苦労いただきながら様々な事業を工夫し、児童生徒にとっては大きな励みになったと思います。「成果指標及び実績」の「児童生徒への到達度アンケート」で、「学校生活アンケートによる『自分にはよいところがあると思う』児童生徒の割合」とありますが、客観的に見つめて褒めるということは、自分にとっては難しいことです。人間は、人に対しては、よいことは言わず悪いところは指摘します。そういうところで、自分のよいところに気づいていない子供もいると思います。その点も加味するとさらにポイントが上がるのではないかと思います。人を成長させる時は褒めていくのがよいと考えます。「施策全体の達成度」はさらに上を目指してほしいところですが、実績の数値を見るとやむを得ないと思います。本来は、もう少しよい実績値のポイントが出るのではないかと思います。

○昨年度より「成果指標及び実績」の実績値が上がったことはとてもよいことだと思いました。特に、「教職員へのアンケート」の実績値が中学生においては、28%から66%に上がったので、新型コロナウイルス感染症対策が緩和されたことで数値に影響を与えたのではないかと感じました。

○授業参観時に外国のお子さんを何人かお見かけしました。先生の人数に対して子供の人数が多く、日本語が話せないお子さんも多かったので、支援が必要なお子さんに目が届いているのか心配になりました。先生方の配置についても予算に関わることなので、簡単に言えることではありませんが、指導する先生方は多いほうがよいのではないかと思います。そうすることで、先生方も子供たちに接する時間が増えると思います。

### 【施策名：学力向上の推進】

○施策の指標「授業がわかる児童生徒の割合」、「家庭学習に毎日取り組む児童生徒の割合」の実績値について、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていると思いました。感染対策を行いながら、子供たちの様々な取組や家庭学習も含め、先生方はご苦労をされたと思います。学校で授業ができない時にオンライン授業ができるようになったことは進歩だと思います。家庭でタブレットを使用する場合、子供たちは、勉強以外で使用することもあると思うので、子供たちの利用について調査を行うと実態の把握に繋がると思います。

○海外派遣事業が実施できなかったことは非常に残念です。現地で体験することとオンラインでの交流とでは生徒の経験値の濃さが変わってくると思います。

○「わくわくドラム推進事業」は、学力の向上には有効なので今後とも力を入れていただきたいと思います。

○施策の指標「授業がわかる児童生徒の割合」、「家庭学習に毎日取り組む児童生徒の割合」の実績値について、小学生の実績値に比べ中学生は大きく下がってきています。いくら新型コロナウイルス感染症の影響を受けている状況とはいえ下がりすぎているので不安に思います。家庭学習に関しては、小学生は、促せばやれる時間があるかもしれませんが、中学生は、部活動

などで時間がないと思うので、家庭学習などの時間をどのように作っていくかが課題であると思います。

○施策の指標「授業がわかる児童生徒の割合」について、授業の中でわからなかった部分や新型コロナウイルス感染症の影響により基礎が学べていないことが影響した結果、「授業がわかる児童生徒の割合」の実績値が下がったのではないかと思います。その基礎を学び直す時間も中学生の授業では作れないと思います。その部分をどのようにしていくのかが一番の課題であると思いました。働くお父さん、お母さんのご家庭が多い中、中学生は、高校受験を控えているので大きな課題になっていると思います。学校に丸投げにすると学校の先生方の負担も増え、また家庭にどこまで助言してよいのか非常に難しいところです。子供のために少し時間を作って、「勉強したの」など一言声かけをすることで大分違うと思います。保護者の協力も必要だと思いますので、教育委員会からも働きかけをお願いします。

### 【施策名：教育行政の推進】

○給食ではアレルギーについて、児童や家庭に対しての手厚い調整をしていただいて、有難く思います。アレルギーの影響は出ていないとのことで、細やかに配慮して給食を提供していただき、非常に助かっています。アレルギーにより重症化することのないよう、今後も配慮していただきたいと思います。

○学校では毎年、健康調査票が配布され、アレルギーについて記入する部分がありますが、子供がアレルギーであるという自覚がなければチェックはしないので、アレルギーとはどういうものかなどわかるような冊子を就学時健診時などで配布していただければ、アレルギー対策に繋がっていくと思います。

## 学識経験者からの意見を受けた今後の取組について

教育課より

### 【施策名：特色ある学校づくりの支援】

○学校のイベント等を支えるボランティアの確保について

子供を取り巻く環境は、地域を構成する方々の高齢化や核家族化および共働きのご家庭が増えるなど多様化しています。ご意見をいただきましたように、学校のイベント等で支えてくださるボランティアの減少等はそうした背景が影響していると認識しております。地域の高齢化等、大きな課題を踏まえつつご家庭のご協力を得ながら今後の対応について検討していきたいと考えます。

### 【施策名：学力向上の推進】

○タブレットの利用に係る調査の実施について

令和4年度の活用実績では、栄町小中学校のクラス数56学級（特別支援学級も含む）で4,250授業数から考えると1クラスあたり年間76授業数、週2時間程度の活用状況だったと推測されます。単元や学習内容により、活用の時期や方法に工夫が必要となりますが、1クラスあたり1日1～2回の活用を目標とすると、年間授業日数を200日程度と考えると1万1,200授業数程度となります。

小学校では、主に学級担任がクラスの授業を受け持つことが多いことから、タブレットを活用する場면을計画的に設定することができるように支援していきます。

中学校では、教科担任制であることから1日のうちにタブレットを活用する場面があったかを把握することが難しく、「1日のうちに全くタブレットを扱うことがない日」がある場合も考えられます。授業の振り返りについては、タブレットに入力して提出するなど教科にとられない活用などを研究し、活用を推進していきます。

また、活用の状況や実態を調査については、年度末の学校評価やアンケートに盛り込み、実態をより詳細に把握できるようにしていきたいと思っております。家庭学習での活用も加味しながら、より具体的な目標を設定し、効果的で積極的な活用の推進を図っていきたいと考えます。

○学力向上の推進における対策について

学力向上に向け大きく3点の対策を考えています。1点目「学習環境と教職員の『授業力』の向上」、2点目「児童生徒が、自ら課題を見つけ、家庭学習に取り組むことができるような支援」、3点目「家庭との連携による家庭学習の充実、家庭での持ち帰りタブレットの効果的活用」です。また、学力の向上には学校教育プラス家庭教育の充実が必要不可欠であると考えています。学校、家庭、地域が一体となり、連携を図りながら児童生徒を支援し、見守る体制づくりを図る必要があると考えております。教育委員会では、「家庭学習の手引き」を配布しています。それを各学校で行われる保護者会等で説明し、ご家庭のご協力をいただけるように働きかけていきたいと思っております。

## 【施策名：教育行政の推進】

### ○子供のアレルギー対策について

学校給食センターでは、教育課と連携し、就学時健康診断等を通じて、保護者に児童生徒にアレルギーがある場合には、どのようなアレルゲンがアレルギー症状を引き起こすのかなどの情報を届け出ていただいています。その情報をもとに、給食時の食物アレルギーによる事故を防止するため、各学校、保護者と連携し、献立表と献立に使用する食材について、食物アレルギーの原因物質を記した詳細な資料と、食物アレルギー物質が食材に使用されていないことを表した詳細な資料を各学校と保護者に配付することで、相互に情報を共有し、誤食等による事故が発生しないように取り組んでいます。

なお、食物アレルギーについては、個人により軽度な人、重症化する人、急に発症した人など様々であることから、その対応については医師の診断に基づき行うことが適切であると思います。食物アレルギーと思われる症状がでた場合は早期に受診することが望ましいと考えます。

基本方針（Ⅲ）生きがいが育める学習やスポーツ環境づくりを推進します。

生涯学習やスポーツを通じて、心身ともに健康で生きがいのある生活と心のかよう地域社会をつくとともに、地域の教育力を活かした子どもたちの健全育成を推進します。

【施策名】

- ・生涯学習機会の充実 . . . . . P 2 4 ・ P 2 5
- ・生涯学習施設の充実 . . . . . P 2 6
- ・スポーツ環境づくりの推進 . . . . . P 2 7 ・ P 2 8

○学識経験者の意見 . . . . . P 2 9 ・ P 3 0

○学識経験者からの意見を受けた今後の取組について . . . . P 3 1



# 施策評価シート

## 1. 施策の情報整理

施 策 名		生涯学習機会の充実					
現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の機能を充実させ、地域学校協働活動(ふれあい推進委員会の活動含む)と一体的に機能するよう地域学校協働活動を充実する必要がある。また、地域学校協働活動の後継者や人員が不足しているため、幅広い地域住民が参画できる取組が必要である。</li> <li>・趣味や関心に基づく個人的な学習活動のみならず、社会的な課題に取り組む学習を支援するため、民間事業者等の活動のみでは得られない学習機会や情報を、行政が積極的に提供する必要がある。</li> </ul>					
施策の情報整理	目指す成果	・多様化する学習ニーズに対応し、誰もが参加しやすい学習環境づくりを進めることによって、各種講座などの参加者や図書室の利用者が増加している。					
	成果指標及び実績	指 標	教育振興基本計画 策定時の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度 教育振興基本計画 最終年度	目標数値の説明
		生涯学習事業参加者数	3,352人	目標値 3,480人 実績値 977人	目標値 3,510人 実績値 1,342人	目標値 3,540人 実績値 1,982人	生涯学習事業(各種講座、放課後教室、地域ふれあい交流事業、体験学習事業、成人式、青少年相談員事業、家庭教育学級、読書教育、)の参加者数及びボランティアスタッフ数
		ふれあいプラザ利用の学習サークル数	59団体	目標値 60団体 実績値 56団体	目標値 61団体 実績値 54団体	目標値 61団体 実績値 52団体	ふれあいプラザさかえを拠点に活動する学習サークル等の登録団体数
		図書室利用者数	18,007人	目標値 18,300人 実績値 13,399人	目標値 18,400人 実績値 17,833人	目標値 18,500人 実績値 17,324人	貸出者数(個人・団体)
	図書室利用の貸出蔵書数	57,622冊	目標値 58,300冊 実績値 59,003冊	目標値 58,600冊 実績値 68,363冊	目標値 58,900冊 実績値 65,601冊	図書室の蔵書の貸出延べ冊数	
	施策全体の達成度 (★★★★)	★★	目標を達成(100%) 目標をほぼ達成(80%以上) 目標を達成していない 現時点では判定できない	★★★ ★★ ★ —	施策の事業費 (上段:最終予算) (下段:決算額)	8,330 千円 8,200 千円	
	達成度の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止により一部事業を中止し、生涯学習事業の参加者数は目標に届かなかったが、数少ない事業における参加者の満足度アンケートは平均で90%となっており、高評価が得られている。</li> <li>・ふれあいプラザさかえ利用の学習サークル数は新型コロナウイルス感染症の影響により、サークル活動が自粛された状態が続いている。</li> <li>・図書室利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響により目標値には届かなかったが、図書利用貸出蔵書数は、インターネット予約や学校図書室の支援などが充実したことにより目標値を上回りました。以上のことから「目標をほぼ達成」と判断した。</li> </ul>					
	設定成果指標以外に現れた成果の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により様々な活動が制限される中、万全な感染対策を施し、ふれあい推進委員や青少年相談員などが中心となり地域学校協働本部事業やドラム自然楽校の活動が展開された。</li> <li>・放課後ふれあい教室は、新型コロナウイルス感染症の影響により、子供たちの安全確保が最優先と考え中止せざるを得なかった。</li> <li>・いきいき塾さかえは、ふれあいプラザさかえ利用サークルが講師を務めるなど、日ごろの学習成果を発揮できた。</li> <li>・コミュニティ・スクール(学校運営協議会)を設置した。</li> </ul>					
	外部環境の変化や住民ニーズの変化など、今後、課題と対応が予測されるもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の機能を充実させ、家庭と地域の連携した安全安心の確保が求められている。</li> <li>・地域学校協働活動の後継者や人員が不足しているため、幅広い地域住民が参画できる取組が必要である。</li> <li>・子供たちの他校や異学年との交流機会の提供と活動支援が求められている。</li> <li>・多様な学習情報の提供が求められている。</li> <li>・レファレンスサービス(利用者の調べ物の手伝い)の充実と利用の促進のための情報発信が求められている。</li> </ul>					
住民との協働や他課の事業との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会、地域学校協働本部、社会教育活動支援事業、ドラム自然楽校等体験事業、その他地域教育関連事業は、ドラム自然楽校実行委員会、青少年相談員連絡協議会、小学校区ふれあい推進委員会、ふれあいプラザさかえ利用サークル、成人式実行委員会、地域のボランティア等との連携及び協働により実施している。</li> </ul>						

## 2. 事務事業の取組

(単位:千円)

事務事業名	令和4年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)	事業費	
① いきいき塾さかえ事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いきいき塾さかえ事業(合計82人)(スタッフ32人)</li> <li>○ゆかたの着付け教室(7人)</li> <li>・キッズ教室 陶芸教室(7人) 切り絵教室(12人) 色鉛筆教室(20人) キッズ書初め教室(20人) 親子プログラミング教室(16人)</li> <li>○社会教育委員会議(8月書面開催・3月対面開催)、印旛郡市社会教育振興大会等</li> </ul>	<b>【取組への課題】</b> ・キッズ教室はふれあいプラザさかえを利用しているサークル等が講師となっているが、サークルの高齢化などにより拡大には至っていないことから、新たなボランティアなどの発掘が必要となっている。また、成人向けの講座はスマホ教室などのニーズがあることから、講師となる企業等を調査する必要がある。	R2 決算	197
		R3 決算	265	
		R4 予算	345	
		R4 決算	280	

②	ドラム自然楽校等体験学習事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然体験活動の推進「ドラム自然楽校」</li> <li>・開会式・どらまめ収穫(10月)</li> <li>・クリスマスリース作り(11月)</li> <li>・親子風揚げ・閉校式(中止)</li> <li>(3回:延べ参加者84人/スタッフ28人)</li> <li>・ドラゴンカヌー(中止)</li> <li>・田植え(中止)</li> <li>・稲刈り(中止)</li> <li>・脱穀・粉摺り・新米試食(中止)</li> </ul>	【取組への課題】	R2 決算	50
			・子供たちが地域のことを知る機会として、ドラム自然楽校の体験内容を拡大することや子供の居場所づくりの場の確保が必要である。	R3 決算	983
			【課題を踏まえ今後の対応】	R4 予算	50
			・体験プログラムにデイキャンプ・畑作体験を新規に追加し事業を拡大するとともに、経済環境課と連携してデイキャンプの充実を図る。また、子供たちの居場所づくりなどを視野に入れ、公共施設の複合利用を含めた活動場所等の確保も検討する。	R4 決算	50
③	図書室運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料の収集提供・レファレンスサービス等</li> <li>・新規購入:一般書383冊、児童書等141冊、雑誌24冊 合計548冊)</li> <li>○学校図書室の支援(各学校への貸出)</li> <li>○絵本の読み聞かせ(40名)</li> <li>○クリスマスおはなし会(12月:50名)</li> <li>○夏休み図書室スタンプカードの発行(173枚)</li> <li>○読書手帳の発行(180枚配布)</li> <li>○本の福袋(50セット配布)</li> <li>○児童クラブへ貸出し</li> <li>○外国人向け図書の設定・貸出</li> <li>○栄町民話伝承プロジェクト事業</li> <li>・栄町龍伝説の絵本作成30部・読み聞かせ 町内小中学校、保育園、幼稚園、図書室、県立中央図書館等へ配架</li> <li>読み聞かせ会開催(延べ82人)</li> </ul> <p>事業参加者数合計(575人)</p>	【取組への課題】	R2 決算	6,827
			・インターネット予約の利用促進や学校図書室、一般利用者の利便性向上につながる支援などを充実させ、図書の貸し出し冊数及び利用人数の減少を回復させる。	R3 決算	3,524
			【課題を踏まえ今後の対応】	R4 予算	4,584
			・広報さかえに話題となっている本を継続して掲載したり、インターネット予約についてわかりやすく説明するパンフレットを作成する。また、学校図書室への貸出しの際の運搬の支援をする。 ・ふれあいプラザさかえ図書室と小中学校図書室の図書管理システムのネットワークを構築し、一般利用の促進を図る。	R4 決算	4,583
④	学校支援本部事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○放課後ふれあい教室事業 (延べ57人/スタッフ延べ18人)</li> <li>・安食小学校放課後ふれあい教室(3回)</li> <li>・布鎌小学校放課後ふれあい教室(中止)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域学校協働本部事業</li> <li>・安食小学校区ふれあい推進委員会 (登下校見守り・花壇整備・植木剪定・読み聞かせ・ふれあいサマーレクリエーション)</li> <li>・安食台小学校区ふれあい推進委員会 (ふれあいキャンプ)</li> <li>・布鎌小学校区ふれあい推進委員会 (奉仕作業・キャンプ大会・ふかま祭り)</li> <li>・竜角寺台小学校地域学校協働本部事業 (登下校見守り・学習支援・施設点検・読み聞かせ・環境整備作業・花植え・ふれあい学級・ドラゴンまつり等)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭教育支援事業(IIKS)</li> <li>・開級式(36人)</li> <li>・講演会(76人)</li> <li>・工場見学(中止)</li> <li>・閉級式(34人)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域学校協働推進員 意見交換会(中止)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○青少年相談員事業</li> <li>・狩る者と狩られる者(44人/スタッフ30人)</li> <li>・成人式フォトスポット設置</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の設置</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○成人式(新成人参加者116人)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○PTA連絡協議会補助</li> </ul>	【取組への課題】	R2 決算	2,003
			・学校と地域の協力体制を構築し地域や学校での問題解決につながるよう、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の機能を充実させる必要がある。また、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)と地域学校協働活動(ふれあい推進委員会の活動含む)が一体的に機能するよう地域コーディネーターの役割を活性化させる。	R3 決算	2,560
			【課題を踏まえ今後の対応】	R4 予算	3,351
			・コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の機能を充実させるため、学校運営協議会委員や地域コーディネーターを対象に研修会を実施する。 ・地域学校協働活動や放課後ふれあい教室などの地域運営スタッフが不足してきていることから、活動について広報などにより周知する。	R4 決算	3,287
合計			R2 決算	9,077	
			R3 決算	7,332	
			R4 予算	8,330	
			R4 決算	8,200	

# 施策評価シート

## 1. 施策の情報整理

施 策 名		生涯学習施設の充実				
現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいプラザさかえの経年劣化による施設の不具合が多く発生しており、その解消が望まれている。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえ、新しい生活様式を取り入れつつ利用者の安全に配慮しながらの利用方法や施設の改修が望まれている。</li> <li>ふれあいプラザさかえは、町の避難所の指定を受けていることから、近年、多発している自然災害への対応が求められている。</li> </ul>				
目指す成果		・利用者が生涯学習施設を安全安心に利用できるよう、必要な修繕や改修工事が計画的に行われている。				
成果指標及び実績	指 標	教育振興基本計画 策定時の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度 教育振興基本計画 最終年度	目標数値の説明
	ふれあいプラザさかえの改修数	1箇所	目標値 1箇所 実績値 2箇所	目標値 1箇所 実績値 6箇所	目標値 1箇所 実績値 1箇所	
施策全体の達成度 (★★★)	★★★	目標を達成(100%) ★★★ 目標をほぼ達成(80%以上) ★★ 目標を達成していない ★ 現時点では判定できない —	施策の事業費 (上段:最終予算) (下段:決算額)		62,393 千円	60,240 千円
達成度の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいプラザさかえの改修数については、ふれあいプラザさかえ個別施設計画に記載している非常用発電設備改修のための計画作成委託を執行したことから、目標値の1件とカウントし、「目標を達成」と判断した。</li> </ul>					
設定成果指標 以外に現れた 成果の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の経年劣化による修繕箇所が多く発生しているが、補正等も含め配分された予算内で措置をしている。</li> <li>避難所開設数1回、避難者数2名(台風8号 R4.8.12)</li> <li>避難所開設準備1回(台風14号 R4.9.19)</li> </ul>					
外部環境の変化や 住民ニーズの変化など、 今後、課題と対応 が予測されるもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいプラザさかえは、町の避難所の指定を受けていることから、近年、多発している自然災害への対応が求められている。</li> <li>経年劣化による設備等の不具合が発生することが予測される。</li> </ul>					
住民との協働や他課の 事業との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>くらし安全課(災害対策室、住民活動支援センター) 経済環境課(環境班)、福祉・子ども課(子育て包括支援センター)</li> <li>住民活動団体が、ふれあいプラザさかえ敷地内の除草作業及び植木の剪定や花壇の整備を行っている。</li> </ul>					

## 2. 事務事業の取組

(単位:千円)

事務事業名	令和4年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)	事業費	
① ふれあいプラザ施設大規模改修事業	○非常用発電設備改修計画作成委託 (6,490千円)	【取組への課題】 ・「ふれあいプラザさかえ個別施設計画」に基づき計画的に改修を進めているが、経年劣化による設備の故障が多く発生している。 ・効率的かつ効果的な予算執行に努めたいが、施設の経年劣化による突発的な修繕等が発生した際の対応が遅れしまい、利用者サービスの低下につながる。  【課題を踏まえ今後の対応】 ・「ふれあいプラザさかえ個別施設計画」に基づき計画的に改修を遂行するため、公共施設等長寿命化検討会において調整を図り進めていく。また、施設改修時期の変更が見込まれるため個別施設計画の見直しを行う。 ・利用者の安全面の確保に努め、設備の不具合の解消を図る。	R2 決算	3,658
	○文化ホール防排煙設備工事(880千円)		R3 決算	34,383
	○ピアノ倉庫シャッター交換工事(290千円)		R4 予算	10,317
	○その他の修繕 ・ガス漏れ検知器修繕/音楽室音響修繕/悠遊亭照明スイッチ修繕/ガス漏れ検知器修繕/逆止弁修繕/多目的トイレ足踏みペダル修繕/トイレ洗面排水金具修繕/減菌機修繕/消防用設備修繕/給湯室配管修繕/外灯修繕/スプリンクラー設備修繕(2,217千円)		R4 決算	9,877
② ふれあいプラザ施設維持修繕事業	○ふれあいプラザさかえの管理・運営を実施 ・施設総合管理や設備保守点検、特定建築物定期報告調査等を委託 ・光熱水費(電気・ガス・上下水道)の支払い ・窓口業務の会計年度任用職員の調整 ・文化ホール業務委託(舞台・音響・照明のスポット委託)	【取組への課題】 ・避難所として多発する自然災害への対応が求められている。  【課題を踏まえ今後の対応】 ・安全対策推進室と連携をとり、災害時には速やかに避難所を開設できるよう、災害時におけるふれあいプラザさかえの体制について協議して準備を進める。	R2 決算	34,511
			R3 決算	40,969
			R4 予算	52,076
			R4 決算	50,363
合 計			R2 決算	38,169
			R3 決算	75,352
			R4 予算	62,393
			R4 決算	60,240

# 施策評価シート

## 1. 施策の情報整理

施策名		スポーツ環境づくりの推進					
現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツイベントを中心に町民が気軽にスポーツを楽しめる機会を増やしていこうと試みている。</li> <li>・少子高齢化の影響もあり、既存のスポーツ団体の活動が衰退傾向にあるので、スポーツ団体の活動の活性化が今後の大きな課題である。</li> </ul>					
目指す成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツや運動に親しみきっかけをつくるために気軽に取り組めるスポーツを推進することによって、スポーツや運動にふれる機会が提供されている。また、利用者が体育施設を安全安心に利用できるよう、必要な修繕や改修工事が計画的に行われている。</li> </ul>					
成果指標及び実績	指 標	教育振興基本計画 策定時の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度 教育振興基本計画 最終年度	目標数値の説明	
	スポーツ教室・大会等参加者数	7,664人	目標値 7,740人 実績値 337人	目標値 7,770人 実績値 1,674人	目標値 7,800人 実績値 2,882人	スポーツ教室や大会等の参加者数	
	体育施設の利用者数	82,998人	目標値 83,100人 実績値 35,772人	目標値 83,150人 実績値 57,642人	目標値 83,200人 実績値 79,431人	スポーツ施設及び学校体育施設の利用者数	
	体育施設の改修数	1箇所	目標値 1箇所 実績値 1箇所	目標値 1箇所 実績値 0箇所	目標値 1箇所 実績値 0箇所	学校施設を除く体育施設の改修工事数	
施策全体の達成度 (★★★)	—	目標を達成(100%) ★★★ 目標をほぼ達成(80%以上) ★★ 目標を達成していない ★ 現時点では判定できない —	施策の事業費 (上段:最終予算) (下段:決算額)		19,067 千円 17,038 千円		
達成度の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ教室・大会等参加者数及び体育施設の利用者数について、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種スポーツ教室・スポーツ団体主催の行事への参加者が減少した。特に、3年ぶりに開催したリバーサイドさかえドラムマラソンについては、参加者が走りやすいようにコースをリニューアルしたり、受付方法を変更するなどスムーズな大会運営に努めたが、令和元年度の開催時と比べ減少した。今後も、多くのランナーが参加しやすい大会運営を目指し、内容等を見直しながら継続して実施する。</li> <li>・さかえスポーツフェスタは、昨年度の開催と比較すると56人増加し、多くのオリンピックアスリートを講師に招いたことで、子供たちのスポーツへの関心や気運が高まった。なお、今後は各小学校にも参加者を募っていききたい。</li> <li>・体育施設の改修は、町民酒直体育館について、活用方法等ゼロベースから見直すこととしたため改修には至らなかった。</li> <li>・上記のとおり、事業の成果はあったものの、令和4年度においても新型コロナウイルス感染症の影響による各事務事業の制限が多く、成果指標と実績値が機能しないことから「現時点では判定できない」と判断した。</li> </ul>						
設定成果指標以外に現れた成果の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バラスポーツの普及推進にあたり、ポッチャ大会を10月に開催し、町内の小学生、栄特別支援学校の生徒、町内福祉施設利用者、住民の参加により16チーム(62名)が参加した。また、軽スポーツ教室において、ポッチャ教室を開催し、10歳代をはじめ50歳代、60歳代以上の参加により世代間の交流が図れた。</li> </ul>						
外部環境の変化や住民ニーズの変化など、今後、課題と対応が予測されるもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツに関心がない方や普段から体を動かす機会が少ない方へ、楽しむためのスポーツを取り入れることで、運動を習慣化させ健康増進や介護予防への意識改革を図る。また、世代ごとに体調管理など健康増進につなげることが必要である。</li> <li>・スポーツ協会やスポーツ少年団の会員数の減少による組織の弱体化を防ぐため、新規会員の勧誘や指導者の世代交代が必要となっている。また、スポーツによる交流人口を生かした地域活性化が望まれている。</li> <li>・部活動の地域移行の取組を推進していく。</li> </ul>						
住民との協働や他課の事業との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員、スポーツ協会、住民活動団体、順天堂大学等と連携し各種の教室やスポーツ大会を開催することは従前通り継続していく。また、スポーツによる健康づくり事業も引き続き継続し、ライフステージに応じた運動、スポーツ参加者へのきっかけづくりや場所の提供によりスポーツ人口を増やすとともに健康長寿社会の形成を進めていく。(教育課、福祉・子ども課、健康介護課との連携)</li> </ul>						

## 2. 事務事業の取組

(単位:千円)

事務事業名	令和4年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)	事業費	
① スポーツフェスタ実施事業	オリンピアンから指導を受けることによって、子供たちのスポーツへの関心や気運が高められ目標を持つことができるようスポーツフェスタを実施した。  ○さかえスポーツフェスタ(12月17日、18日開催) ・バレーボール教室(中学生:53人) ・アスリート:ヨコ・ゼッターランド、丸山由美、齋藤信治 ・卓球教室(中学生:40人) ・アスリート:藤沼亜衣、森園美咲 ・バスケットボール教室(中学生:59人) ・アスリート:小畑亜章子、田中利佳 ・陸上教室(中学生:50人) ・アスリート:秋葉麻帆、井上将憲  ※上記合計:202人	【取組への課題】 ・スポーツへの関心をさらに高めるため、小学生の参加も検討する。 ・アスリートとの交流時間について、より接点を多く持つため、1日開催を基本に検討する。 ・スポーツ振興くじ補助金を活用し、引き続き実施する。	R2 決算	1,786
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・参加者のレベルに合った練習内容となるように、参加者の現状を把握しアスリートとの十分な調整を行う。小学生が参加している種目については、中学生と合同で実施できるよう団体の指導者、アスリートなど関係者と十分な協議を行う。 ・スポーツ振興くじ補助金を活用しトップアスリートを招いてのスポーツフェスタは引き続き開催する。	R3 決算	2,059
			R4 予算	2,060
			R4 決算	1,972
② スポーツ団体活動支援事業	各種スポーツの競技力の向上及び町民にスポーツを普及し、健康と体力向上の促進を図るため、スポーツ団体の支援を行った。  ○さかえオープンゴルフ(参加者:93人) ○印旛郡市民スポーツ大会(参加者:211人) ○千葉県民体育大会(参加者:ソフトテニス4人、バレーボール1人、卓球1人、ソフトボール1人、弓道1人、合計:8人) ○印旛駅伝競走大会(参加者:8人) ○体育協会各専門部大会等  ※上記合計:320人	【取組への課題】 ・体育協会各専門部の登録人数の減少、特に、高齢化により衰退・減少方向にあることから、新規会員の勧誘や新たな人材を发掘して、スポーツ人口の底辺を広げていく必要がある。	R2 決算	2,043
			R3 決算	2,504
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・体育協会各専門部の活動のPRとして町広報を活用する。また、スポーツ推進員主催による軽スポーツ教室において、スポーツ団体と連携して活動を紹介し、スポーツ団体の新規会員の勧誘や新たな人材の发掘につなげていく。	R4 予算	2,503
			R4 決算	2,494

③	スポーツによる健康づくり事業	<p>スポーツを通して健康なまちづくりを推進するため、ライフステージに応じた運動、スポーツ参加へのきっかけづくりや場所を提供した。</p> <p>【運動教室】 生涯学習課事業 ○軽スポーツ教室 (4月・5月・6月・9月・10月・11月・12月・1月・2月) 合計:156人 ○体力調査大会(6月) 参加者:10人</p> <p>健康介護課事業 ○いきいき広場(参加者:124人) (リンパマッサージ・ヨガ・ピラティス・ノルディックウォーキング) ○栄町ポッチャ大会(参加者:62人)</p> <p>※上記合計:352人</p>	【取組への課題】 ・健康増進への意識付けを向上させ、運動教室へ参加を促す必要がある。 ・スポーツへの関心を高めるため、楽しむためのスポーツ種目を取り入れるなど、取り組みしやすい環境を整備することも必要である。	R2 決算	348
			【課題を踏まえ今後の対応】 ・軽スポーツ教室について、令和3年度から実施しているポッチャを継続して取り組んで行く。また、令和4年度からはビックルボールも取り入れ2競技で軽スポーツ教室を実施して行く。今後は国などのガイドラインに従いポッチャ、ビックルボール以外に、新たなスポーツの体験を増やし、関係スポーツ団体等と連携して活動を紹介する。 ・健康介護課と連携し健康増進や介護予防のための教室を実施していく。	R3 決算	701
			【課題を踏まえ今後の対応】 ・軽スポーツ教室について、令和3年度から実施しているポッチャを継続して取り組んで行く。また、令和4年度からはビックルボールも取り入れ2競技で軽スポーツ教室を実施して行く。今後は国などのガイドラインに従いポッチャ、ビックルボール以外に、新たなスポーツの体験を増やし、関係スポーツ団体等と連携して活動を紹介する。 ・健康介護課と連携し健康増進や介護予防のための教室を実施していく。	R4 予算	947
			【課題を踏まえ今後の対応】 ・軽スポーツ教室について、令和3年度から実施しているポッチャを継続して取り組んで行く。また、令和4年度からはビックルボールも取り入れ2競技で軽スポーツ教室を実施して行く。今後は国などのガイドラインに従いポッチャ、ビックルボール以外に、新たなスポーツの体験を増やし、関係スポーツ団体等と連携して活動を紹介する。 ・健康介護課と連携し健康増進や介護予防のための教室を実施していく。	R4 決算	917
④	社会体育館改修事業	<p>安全かつ快適に施設を利用できるように、社会体育施設の維持管理を行った。</p> <p>○スポーツ環境整備(体育施設利用者) ・水と緑の運動広場(テニスコート・野球場・多目的広場) (17,952人) ・房総のむら(テニスコート・多目的広場) (10,812人) ・町民体育館・学校体育館 (26,871人) ・町民グラウンド(野球・サッカー) (21,996人) ・町民フールー般開放 (1,800人) ※上記合計:79,431人</p> <p>※社会体育館改修事業 改修事業なし</p>	【取組への課題】 ・安全に利用できるよう、体育施設を適正に管理する必要がある。	R2 決算	3,490
			【課題を踏まえ今後の対応】 ・体育施設の適正な管理のため、点検・整備を定期的に行う。	R3 決算	4,430
			※予算・決算はスポーツ環境整備事業費を計上しています。	R4 予算	6,959
				R4 決算	6,226
⑤	リバーサイドマラソン実施事業	<p>コース及び大会名をリニューアルし令和5年2月19日に3年ぶりに開催した。</p> <p>○リバーサイドさかえドラムマラソン ハーフ・10km・5km・2km・親子(1km)</p> <p>・令和5年2月19日開催 ・申込者数:2,308人/参加者数:2,008人 (実行委員会決算:14,703千円) ・令和4年2月中止 ・令和3年2月中止 ・令和2年2月実施 ・申込者数:3,255人/参加者数:2,386人 (実行委員会決算:11,449千円) ・平成31年2月実施 ・申込者数:3,672人/参加者数:3,278人 (実行委員会決算:12,172千円)</p>	【取組への課題】 ・新型コロナウイルス感染症拡大前に比べて参加者が減少しているため、PR活動に力を入れる。 ・町内外から多くの人に参加者いただくことにより、交流人口を増やし町の移住定住を図る。 ・参加者数を増加させるため、コースの見直しや運営体制の改善に努め、参加者がより参加しやすい大会を目指すとともに、町の魅力を全面的にPRし、町の活性化につなげる。 ・財源確保のため、補助金の交付が必要である。	R2 決算	0
			【課題を踏まえ今後の対応】 ・コースや運営体制の改善に努め、ポスターやチラシ等の多くの情報媒体を利用して参加者の増加を図るとともに、町の魅力をPRしていく。 ・補助金の財源を確保するため、totoのスポーツ振興くじ助成金の申請を行う。	R3 決算	0
			※令和4年度は運営補助金を交付しております。	R4 予算	6,598
				R4 決算	5,429
⑥	房総のむらテニスコート整備事業	<p>安全かつ快適に施設を利用できるよう、房総のむらテニスコート改修工事を令和2年度に実施した。</p> <p>○定期的に点検・管理を実施</p>	【取組への課題】 ・房総のむらのテニスコートの適正な維持管理を引き続き実施する必要がある。	R2 決算	10,670
			【課題を踏まえ今後の対応】 ・房総のむらのテニスコートを定期的に点検し、適正な維持管理を行い利用しやすい環境づくりを行っていく。	R3 決算	0
				R4 予算	0
				R4 決算	0
合計				R2 決算	18,337
				R3 決算	9,694
				R4 予算	19,067
				R4 決算	17,038

## 学識経験者の意見（基本方針（Ⅲ）について）

### 【施策名：生涯学習機会の充実】

○施策の指標「生涯学習事業参加者数」は、新型コロナウイルス感染症の影響により事業の制限を受けたことで「施策全体の達成度」に影響を与えていると思います。令和元年度から令和4年度までの施策の成果指標が新型コロナウイルス感染症の影響により、達成度が「現時点では判定できない」という施策がありました。令和5年度以降は、参加者数がどれくらいという指標ではなく、事業の達成数など他の指標に変えていただけたほうがよいと思います。

○図書室の利用については、新型コロナウイルス感染症の影響で、外出が難しい時期に家庭の中で過ごす時間も増え、図書室を利用することもあったと思います。また、現在は、インターネットやスマートフォンなどの普及により、読書をする環境が徐々に少なくなってきました。目で見るとは違い、読書は考えながら理解していくという部分で非常に大事なことだと思います。今後も利用者が好むような蔵書を増やしていただけるとよいと思います。新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受けた環境の中、各事業を担当された皆様のご尽力があったものと感謝しております。

○施策の指標「図書室の利用者数」の実績値について、学校が長期休校のときは、図書室から学校に何冊かお借りする形になっていますが、「図書室の利用者数」に含まれていますか。

○学校の掲示板に貼られていた「本が入りました」のポスターを見た子供たちが「新しい本を読みたいね」と会話している光景を見かけました。ポスターが貼ってあることによって子供たちの本に対する興味も湧きます。司書の先生もお忙しいので、本を届けていただくと有難いと思います。子供たちが本を借りて喜んでくれるという流れに繋げることができれば子供たちの読書力も向上すると思います。ぜひ続けていただきたいと思います。

### 【施策名：生涯学習施設の充実】

○施策の指標である「ふれあいプラザさかえの改修数」の施策全体の達成度について、「目標を達成」は妥当だと思います。ふれあいプラザさかえは、災害時の避難所になっています。避難者が来た時の避難日数も1日、2日という場合もあるかもしれませんが、災害規模によっては長期間に及ぶこともあると思います。現在は、お風呂が壊れたままということですが、避難が長期化した時は、シャワーだけでは間に合わない状況も出てくると思います。千葉県は今まで災害が少ないと思っていましたが、最近ではかなり被害を受けています。今後は、栄町も被害を受けないという保証はありません。予算が関わることではありますが、もしもの時の備えは大事なので考慮をお願いします。

○「施策の現状と課題」の中に「新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえ、新しい生活様式を取り入れつつ利用者の安全に配慮しながらの利用方法や施設の改修が望まれている」とありますが、利用方法についてホームページを拝見したのですが、その時にどのように利用したらよいのか詳細が記載されていないので、もう少し詳しく書かれていると分かりやすいと思い

ます。先日、「避難所が開設されました」とマチコミメールで周知されていましたが、避難所に行った方の人数や利用方法について、具体的に提示していただけると避難される方も迷わず避難できると思います。

### 【施策名：スポーツ環境づくりの推進】

○活動を休止していた団体が再び活動をするのが難しくなっているようです。休止中に高齢化が進み団体の活動ができなくなっていることを聞いております。これからまた別の形で、年代別に人材を発掘して団体活動を活発化させるという施策も必要なのではと感じています。スポーツというと「チャンピオンスポーツ」を思い浮かべますが、それだけではなく「第2のスポーツ」、「楽しむためのスポーツ」特に、栄町は高齢者人口が41%を超え、10人に4人は高齢者です。その方たちがスポーツを通じ健康を維持しながら町の活動などに参加してもらえたら、さらに栄町も活性化されると感じています。そこを踏まえながらスポーツの普及に力を入れていただきたいと思います。

○最近、障がい者の方のスポーツも幅広く普及しています。白井市のスポーツ推進委員は障がい者を対象に教室を開催しています。私が現役の時は、白井市と交流があり体育館で障がい者の方と色々なスポーツを楽しんでいるのを見たことがあります。一般の方へのスポーツの普及も大事ですが、障がい者の方へのスポーツの機会の提供ということも大切だと思います。スポーツ推進委員の方の活躍を非常に期待しています。仕事をされながらの活動は大変だと思いますが、皆さんの力を発揮していただければ幸いです。

○以前、小学校でカーリングの大会に参加させていただきました。今は新型コロナウイルスの影響もあると思いますが、子供たちが参加できる機会も少なくなっているのかなと感じています。私が参加している放課後ふれあい教室では、とにかく体を動かしたいという子供が多いです。学校のイベントも体を動かす内容で行っていければよいと思っています。子供たちがイベントに参加すれば保護者も参加されるので活性化に繋がるのではないかと思います。他校と繋がる機会ができれば、中学生になった時に「初めまして」ではなく「誰々君、こんにちは」のようにやりとりができ、楽しく中学校生活を送れるきっかけづくりにも繋がります。今、ボランティアが少ないので課題もありますが、今後、子供たちが将来に向けて、「栄町は楽しかったな」と言えるような町を作ってほしいと思います。そうした環境で子供たちと関わりながら栄町を盛り上げていければよいと思います。

○保護者は、横の繋がりがなく、スポーツ推進委員さんに「こうしたスポーツをしたい」など要望を伝えて実現できればよいのですが、伝える機会がなく、そのまま次の年に同じような発言をさせてもらっています。このような機会があれば、ボランティアも子供たちも横の繋がりができると思います。こうしたきっかけを作っていただけるよう教育委員会の皆さんに頑張ってくださいと思います。

## 学識経験者からの意見を受けた今後の取組について

### 生涯学習課より

#### 【施策名：生涯学習機会の充実】

##### ○施策の指標の設定について

施策の指標を「生涯学習事業参加者数」に設定したことで、新型コロナウイルス感染症の影響により事業が実施できず施策の実績値に影響を受けました。この状況を踏まえ、令和5年度から始まる栄町教育振興基本計画および第5次総合計画後期基本計画では社会情勢に影響されることのないよう、指標を「生涯学習事業参加者の満足度」に設定し直しました。

##### ○施策の指標「図書室の利用者数」の実績値について

図書室の利用者数は、学校で貸出しした方も含んでおります。また、町内には書店がなく、非常に不便な状況にあることから、今後も学校の図書室支援はもちろんのこと、利用者のニーズに対応した蔵書に努めるとともに、利用者の利便性を高める工夫を行ってまいります。

#### 【施策名：生涯学習施設の充実】

##### ○災害時の利用に係る浴室等の修繕について

悠遊亭の浴室については、給湯器及び浴槽の故障のため平成17年度から利用を中止しておりますが、この修繕には多額の費用が掛かることから、現在のところ修繕は予定しておりません。しかしながら、ふれあいプラザさかえは災害時の避難所になっていることから、避難者が安心して避難できる施設として維持管理していく必要がありますので、ふれあいプラザさかえ長寿命化計画に基づき、命を守ることを最優先に考えた避難所として必要な修繕を進めてまいります。

#### 【施策名：スポーツ環境づくりの推進】

##### ○人材育成に係る町の支援について

各種活動団体の実情を把握することやスポーツ協会等の方々の意見を参考にするなど、各種団体と相互にコミュニケーションを図りながら改善策や新たな軽スポーツ教室などの施策について調査研究してまいります。

##### ○学校とスポーツ推進委員との情報共有に係る機会の提供について

情報共有（意見交換）については、今後のスポーツの推進事業を進めて行くうえで、重要であると考えます。つきましては、教育に関し学識経験を有する方や小学校の保護者とスポーツ推進委員との交流機会の提供について、開催方法など検討してまいります。

基本方針 (IV) 地域に根ざした芸術・文化の育成と文化財等の保護・活用を図ります。  
地域に根ざした芸術・文化の育成と文化財等の保護・活用を図り、個性豊かで潤いのある地域文化の醸成を推進します。

【施 策 名】

- ・芸術文化活動の支援 . . . . . P 3 3 ・ P 3 4
- ・文化財等の保護と活用 . . . . . P 3 5 ・ P 3 6

○学識経験者の意見 . . . . . P 3 7 ・ P 3 8

○学識経験者からの意見を受けた今後の取組について . . . . P 3 9



# 施策評価シート

## 1. 施策の情報整理

施策名		芸術文化活動の支援					
現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>既存サークルの高齢化等によりサークル数が減少している。</li> <li>各サークル等、文化芸術団体がより活発に活動できるよう、活動の啓発や成果発表の支援が必要である。</li> <li>社会環境の変化により、余暇時間を利用した個人の趣味や学習活動が増加し、ふれあいプラザさかえに来れば、いつでも文化芸術に関する情報が入手でき、また多くの文化芸術にふれられる機会を充実させることが望まれている。</li> </ul>					
施策の情報整理	目指す成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術文化活動を活性化するために町民の方々に文化芸術にふれる機会が提供されているとともに、活動者に活動の成果を発表する機会が提供されている。</li> </ul>					
	成果指標及び実績	指標	教育振興基本計画 策定時の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度 教育振興基本計画 最終年度	目標数値の説明
		芸術文化の公演数	14公演	目標値 15公演 実績値 6公演	目標値 16公演 実績値 0公演	目標値 16公演 実績値 7公演	文化ホール利用の音楽、演劇、舞踊、映画などの公演数
		文化祭参加団体数	49団体	目標値 52団体 実績値 0団体	目標値 53団体 実績値 0団体	目標値 54団体 実績値 35団体	ふれあい文化祭の団体、個人の参加者数
				施策全体の達成度 (★★★★) —			
	達成度の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術文化の公演数については、文化ホールが新型コロナウイルスワクチン接種会場になっていたことから、実施回数が大幅に減少したが、感染状況が減少した時期に感染対策を行いながら7回実施することができた。</li> <li>文化祭参加団体数については、文化ホールが使用できなかったことから発表部門はふれあいセンターに会場を変更し感染対策を行いながら実施し、ステージや楽屋等のスペース、音響・照明設備が文化ホールとは異なることから参加できない団体が多くあった。</li> <li>上記のとおり、事業の成果はあったものの、令和4年度においても新型コロナウイルス感染症の影響による各事務事業の制限が多く、成果指標と実績値が機能しないことから「現時点では判定できない」と判断した。</li> </ul>					
	設定成果指標以外に現れた成果の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワクチン接種会場と調整し10月以降は、ホールピアノ一般開放等の自主文化事業及び文化ホール貸館事業を実施することができた。</li> </ul>					
	外部環境の変化や住民ニーズの変化など、今後、課題と対応が予測されるもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>各サークル等、文化芸術団体の会員の高齢化や個人の趣味や学習活動が多岐にわたり、団体会員の確保や活動の維持が課題となっている。</li> </ul>					
住民との協働や他課の事業との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいプラザ利用サークル連絡会、くらし安全課</li> </ul>						

2. 事務事業の取組		(単位:千円)			
事務事業名	令和4年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)		事業費	
① 自主文化事業実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自主文化事業</li> <li>・ホールピアノ一般開放 4日間(29組60人)</li> <li>・スプリングフェスタ(中止)</li> <li>・クリスマスジャズコンサート(450人)</li> </ul>	【取組への課題】	R2 決算	9	
		・自主文化事業の際のアンケート調査による文化芸術に関するニーズについて、効果的な取組を検討する必要がある。	R3 決算	8	
		【課題を踏まえ今後の対応】	R4 予算	6	
		・アンケート調査による文化芸術に関するニーズについて、効果的な取組を検討し、実現可能なものから計画的に実施していく。また、PRについても、ポスター、チラシ、ホームページなどにより積極的に周知する。	R4 決算	6	
② 芸術文化公演鑑賞の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化ホール貸館事業(10月~12月)</li> <li>・合唱コンクール(2回)</li> <li>・ピアノ発表会(1回)</li> <li>・音楽会(2回)</li> <li>・舞踊発表会(1回)</li> </ul>	【取組への課題】	R2 決算	0	
		・新型コロナウイルスワクチン接種会場として利用される可能性がある。	R3 決算	0	
		【課題を踏まえ今後の対応】	R4 予算	0	
		・文化ホール貸館事業への影響が最小限となるようワクチン接種関係部署と調整する。	R4 決算	0	

③ 芸術文化団体活動の支援	<p>○ふれあい文化祭(来場者数1,348人)</p> <p>○1階展示ロビーにおいて、展示ケースやミニギャラリーによるサークルの案内、作品展示を随時展開した。</p>	<p>【取組への課題】</p> <p>・各サークル会員の高齢化や会員の確保が課題である。</p>	R2 決算	0
			R3 決算	0
		<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <p>・町民の方に、生きがいややりがいに繋がるようなサークル活動についてPRするため、「サークル紹介コーナー」の情報を充実させ、参加人数の増加につなげる。</p>	R4 予算	0
			R4 決算	0
合 計			R2 決算	9
			R3 決算	8
			R4 予算	6
			R4 決算	6

# 施策評価シート

## 1. 施策の情報整理

施策名		文化財等の保護と活用					
現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本町の貴重な文化財を保存し未来へ継承するとともに、この活用を図っていく必要がある。そのため、文化財等の展示・公開事業、町史編さん事業および文化財サポーター育成の推進が求められている。</li> <li>・文化財サポーターについて、担い手不足の解消に取り組む必要がある。</li> </ul>					
施策の情報整理	目指す成果	・文化財等の保護と活用が図られるよう、多くの参加者による文化財等の展示・公開が行われているとともに、文化財等を説明できる人材が育成されている。					
	成果指標及び実績	指標	教育振興基本計画 策定時の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度 教育振興基本計画 最終年度	目標数値の説明
		指定文化財公開事業の参加者数	500人	目標値 750人 実績値 438人	目標値 850人 実績値 1,380人	目標値 1,000人 実績値 1,300人	龍角寺古墳群、岩屋古墳など文化財のガイド受講人数
	文化財サポーター数	11人	目標値 16人 実績値 16人	目標値 18人 実績値 18人	目標値 20人 実績値 20人	町の文化財を説明できるボランティアの数	
	施策全体の達成度 (★★★★)	★★★★	目標を達成(100%) ★★★★★ 目標をほぼ達成(80%以上) ★★★★ 目標を達成していない ★ 現時点では判定できない —	施策の事業費 (上段:最終予算) (下段:決算額)		610 千円 338 千円	
	達成度の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定文化財公開事業の参加者数は、目標値を大幅に達成した。</li> <li>・文化財サポーター数は、目標値を達成した。</li> </ul> 以上のことから施策全体の達成度は「目標を達成」と判断した。					
	設定成果指標以外に現れた成果の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示・公開事業については、当町後援で開催された早稲田大学會津八一記念博物館企画展「下総龍角寺」に、延べ1万人以上が来館。また、早稲田大学小野記念講堂にて、令和4年10月16日に開催された龍角寺に関するシンポジウムでは、バスを借り上げ、当町から27名が参加し、オンライン視聴も含めて332名が視聴した。</li> </ul>					
外部環境の変化や住民ニーズの変化など、今後、課題と対応が予測されるもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国史跡「龍角寺古墳群・岩屋古墳」を戦略的に活用するために、長期的なビジョンにたちながら、時代のニーズ等をとらえた「保存活用計画」を策定する必要がある。</li> <li>・岩屋古墳の草刈りに協力できる担い手不足が課題となっている。</li> <li>・龍角寺の文化財は、東日本大震災時に様々な面で損傷し、そのままになっているものが多い。(国重文「薬師如来坐像」保管施設の奉安殿の老朽化(S25築)、国史跡「塔址」の石垣の倒壊、町指定文化財候補の「宮殿」の損傷(前方へ傾斜)が進行。)</li> <li>・これまで刊行が凍結されてきた『栄町の歴史』第4号の刊行を町政施行70周年にあたり刊行することが望まれる。</li> </ul>						
住民との協働や他課の事業との連携	・栄町文化財サポーター、のらりくらり健康ウォーキングの会などと公開事業の協働を推進し、経済環境課の観光計画との整合連携を図る。						

## 2. 事務事業の取組

(単位:千円)

事務事業名	令和4年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)	事業費
① 文化財等展示・公開事業	◎栄町文化財サポーターガイド 文化財公開事業関係 合計 1300人  ○町公開事業 713人 ・国指定文化財公開事業(11/3公開) 647人 ・岩屋古墳 463人・龍角寺 72人・浅間山古墳 112人 ・さくらまつり協賛(3/27公開) 66人 ・岩屋古墳 22人・龍角寺 39人・浅間山古墳5人  ○他団体事業関係 140人 ・のらりくらり健康ウォーキング 33人 ・水神社21人 安食百庚申 12人 ・エネセラフウォーク 安食百庚申 107人  ○他団体へのガイド 183人 ・ドラムサロン(岩屋古墳) 45人 ・学習院大学(岩屋古墳) 123人 ・東アジア比較都城史研究会: 15人  ○校外学習関係 264人 ・岩屋古墳 ・布鎌小 21人・安食小55人 龍角寺台小 22人 ・龍角寺 ・布鎌小 12人・安食小 66人 龍角寺台小 22人 ・上総の農家 ・安食小 66人  ◎文化財講演会 38人 「龍角寺出土の埴仏の意義」(R5. 1. 23)  ◎国史跡環境整備活動の実施 ・年間14回 延べ42人	【取組への課題】 ・町内小学校の校外学習や他団体への協力など(6月・11月)、短い期間に集中して依頼が来る傾向にあり、ボランティア協力者の負担が大きくなっている。 ・令和4年度に早稲田大学會津八一記念博物館での企画展「下総龍角寺」が開催されたことに引き続き、風土記の丘資料館がR5.5からリニューアルオープンし、龍角寺と龍角寺古墳群への関心が高まっていることから、町としての取組が求められている。 ・刈払い機を使用できるボランティアが減少し、国指定史跡の環境整備作業に支障をきたしている。除草作業の会計年度職員を募集したが、応募者がいない状況である。(事務事業③と関連) ・浅間山古墳エリアは、長らく整備が行われていない場所であったため、産業廃棄物が堆積していたり、白鳳道脇の竹林の倒木が乱立していたり、草刈り以外でも課題がある。	R2 決算 234
			R3 決算 144
			R4 予算 414
			R4 決算 199

② 町史編さん事業	<p>○町史編さん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町史関係のトピックスについて、広報さかえにて掲載(12回)。</li> <li>・歴史講座「古文書でたどる江戸時代の安食」の開催(4回)のべ94人</li> </ul> <p>○記録史料の保存・公開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史公文書の整理保存作業(既存整理分配架確認)</li> <li>・行政資料室廃止に伴う資料選別収集作業</li> <li>・地域史料の整理保存作業(ふすま下張り文書・安食・川崎家文書、北辺田・石原家文書 収集資料:安食・山田家文書再整理)文化財サポーター(年間39回延べ167人)との協働作業で終了させることができた。</li> </ul>	<p>【取組への課題】</p> <p>○町史編さん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査終了済みの別編「文化財社寺編」などの刊行が滞っている。</li> <li>・町民に対し、栄町の歴史を平易に伝えられていない。</li> </ul> <p>○記録史料の保存・公開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史公文書の整理保存作業は、専門職員の人的確保に苦慮している。</li> <li>・書棚が未整備である。</li> <li>・地域史料の整理保存作業は文化財サポーターが減少し、担い手不足に直面している。(事務事業③と関連)</li> </ul> <p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <p>○町史編さん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未刊行の原稿について、町制施行70周年にあたる令和7年度に向けて、刊行の準備を進めるとともに、HP上での公開についても検討していく。</li> <li>・広報紙への掲載について、各メディアで話題となっているような時宜を得たテーマや歴史講座参加者、文化財サポーター登録者などから興味のあるテーマを聞き取り、記事に反映させ、HP上にも順次公開していく必要がある。</li> </ul> <p>○記録史料の保存・公開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史公文書の整理保存作業日を固定化して作業時間を確保し、公文書管理法に基づく例規等の整備を進め、歴史公文書のライフサイクルを確立させる。</li> <li>・未使用・未整備の書棚の整備を進め、作業環境の改善に取り組む。</li> <li>・地域史料の整理保存作業は、栄町古文書学習会への支援を強化するとともに、文化財サポーターの増員を図り、作業の継続を図る。(事務事業③と関連)</li> </ul>	R2 決算	85
			R3 決算	145
			R4 予算	134
			R4 決算	77
③ 文化財サポーター育成の推進	<p>○幹事会、全体会の開催</p> <p>○研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイド実習関係</li> <li>・岩屋古墳・龍角寺ガイド6回、</li> <li>・自主研修会関係 12回</li> <li>・講演会(早稲田大学下総龍角寺シンポジウム)</li> </ul>	<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財ガイドの対応について、文化財サポーターへの研修の充実と、ガイドマニュアルの必要性が生じている。</li> <li>・史跡環境整備作業において草刈り機を使用できる文化財サポーターの養成が必要である。(事務事業①と関連)</li> <li>・地域史料の整理保存作業に対応できる文化財サポーターの養成が必要である。(事務事業②と関連)</li> </ul> <p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・房総のむらやドラマの里、コスプレの館との連携を進め、文化財ガイドの研修機会や、ガイド活動を増やすとともに、ガイドマニュアルの整備を進め、文化財サポーターの育成を充実させる。</li> <li>・刈払い機の使用にあたり必要な物資(作業服など)の購入費の予算化を進め、草刈り機の使用マニュアルを作成し、必要な技能の研修機会を設ける。(事務事業①と関連)</li> <li>・地域史料の整理保存にかかるマニュアルの整備を進める。(事務事業②と関連)</li> </ul>	R2 決算	564
			R3 決算	60
			R4 予算	62
			R4 決算	62
合 計			R2 決算	883
			R3 決算	349
			R4 予算	610
			R4 決算	338

## 学識経験者の意見（基本方針（IV）について）

### 【施策名：芸術文化活動の支援】

○施策の評価が「現時点では判定できない」とのことですが、新型コロナウイルス感染症対策の観点から事業の制限があり、公演開催に向け、皆さんご尽力されていきました。成果指標と実績を踏まえるとやむを得ないことですが、とても残念に思いました。

○事業活動に制限がある中で、事業に対する意欲を持ち続けるということは相当なエネルギーがいることです。それに加え高齢化が進み、活動ができない団体も出てきていることを聞いております。そこで、団体数を増やしていく、人材を育成していくという支援が必要だと思えます。今後、様々な団体の活動が活発化するように取組の支援をしていただけたら有難く思えます。町民だけで人を集めるといことは難しいことです。町の支援をお願いしたいと思えます。

○「事務事業の取組」の①「自主文化事業実施事業」の「取組への課題」の中に、「自主文化事業の際のアンケート調査による文化芸術に関するニーズについて効果的な取組を検討する必要がある」と記載がありますが、アンケートは実施されましたか。アンケートで住民ニーズが把握できると思えます。その結果を十分に活かしながら施策を考えていただきたいと思えます。

○ふれあい文化祭を見学に行きました。皆さん楽しそうにお話されていきました。文化祭があるのとないのとは全く違います。多くの団体が発表されていたのが印象的でしたが、「施策全体の達成度」が「現時点では判定できない」ということで残念に思いました。令和4年度は35団体ですが、令和5年度現在、活動されていた団体は戻ってきていますか。

○来年は「施策全体の達成度」の星がたくさん付くことを楽しみにしています。

○自分が活動してきたことを発表する機会がないと励みにならないと思えます。開催できたのでよかったと思っています。

○昔、子供たちを呼んで陶芸などの発表会をさせてもらった年もあったと思えます。今は陶芸教室などないのでしょうか。そういう時の作品を展示していただけるとよいと思えます。子供の作品があると保護者も参加されるので参加者も増えます。子供たちが将来、引き継いでいけるような形を考えていただけるとよいと思えます。

### 【施策名：文化財等の保護と活用】

○施策の目標は十分達成していると思えます。栄町は古くから残された文化遺産がたくさん残されています。町の大切な財産であり、これを大事に保存しながら広く町民の皆さんに知っていただく事が大事なことだと考えています。町が目玉として観光まで発展させられるとさらに町も活性化すると思えます。

○私は、のら里くら里健康ウォーキングの会を主催しています。その活動の主旨は「健康を目指しながら町の遺跡など歴史あるものを紹介したい」ということで、ケーブルテレビ296さ

んの協力をいただきながら支援していきたいと考えています。この中でも、それを運営するスタッフの高齢化により1人抜け、2人抜けという状態です。我々のことだけではなく町の中で活動をする分野ごとの指導者の育成が非常に大事なのではないかと思います。人材を育成する取組をお願いできれば有難いと思います。人材が見つからずに団体が消えていくことはとてもさみしいことだと思います。町で支援をしていただけたら活動団体も増えていくきっかけになるのではないかと思います。のら里くら里健康ウォーキングの会も実働は3人になっています。参加された方に声をかけましたが、参加はするけど運営までは参加できないという方が多いので、苦慮しているところです。町で支援をしていただけると有難いです。よろしく申し上げます。

○「事務事業の取組」の①「文化財等展示・公開事業」の校外学習関係について、安食台小だけが入っていないのですが、岩屋古墳や龍角寺に見学に行かなかったのでしょうか。栄町の貴重な文化財なので気になりました。

## 学識経験者からの意見を受けた今後の取組について

生涯学習課より

### 【施策名：芸術文化活動の支援】

○自主文化事業のアンケートについて

令和4年度に実施しました自主事業については、アンケートを実施しました。ピアノ一般開放では、実施日数や利用人数の拡大について要望がありました。また、クリスマスジャズコンサートでは、令和5年度も実施してほしいという要望がありました。これらの要望等について、効果的な取組を検討し、実現可能なものから計画的に実施していきます。また、PRについてもポスター、チラシやホームページなど積極的に周知してまいります。

○令和5年度現在の団体数について

令和5年度のふれあいプラザさかえ利用連絡会に加入している団体数は、50団体が登録されており、通常の団体数に戻りつつありますが、各団体の高齢化により団体数は少しずつ減少していることから、生きがいになるようなサークルのPRに力を入れてまいります。

### 【施策名：文化財等の保護と活用】

○文化財の活用について

文化財の活用については、ふれあいプラザさかえロビーにおいて展示を行うなどの展開を行い、情報発信も積極的に行ってまいります。

○人材育成に係る町の支援について

住民活動にかかわる人材育成については、文化財の分野に限った回答となりますが、文化財サポーターを広く募集しかつ研修の機会をつくり人材の育成に努めてまいります。

○「文化財等展示・公開事業」の校外学習について

町内のすべての小中学校が、岩屋古墳や龍角寺を校外学習先に選択していただけるよう、学校に働きかけていきます。また、その前段として、ふれあいプラザさかえで開催中の「下総龍角寺」ミニ展示を見学していただけるように学校への情報提供や調整を行ってまいります。

## 5 本町教育行政が取り組む方向について

教育長より

この度、学識経験者お二方による教育委員会への「点検と評価」にかかるA3版39頁にわたる全12施策へのご高見を頂戴し、誠にありがとうございました。

今回は、栄町第5次総合計画・前期基本計画の最終年度として、どこまで迫り達成できたかを検証することになりました。しかしながら、昨年度に続きコロナ禍での実践であったこともあり、達成が覚束なかった事業や、指標が相応しくないものも残存している状況でした。そのため、今年度スタートしました後期基本計画での成果指標は工夫しております。ご高見をもとに、教育委員会内で活かしてまいります。

次に、コロナ禍と同様に、4年前の前期計画では俎上にのせていない事務事業について触れてまいります。重大案件としましたのは「安食小学校の創立150周年」でした。令和5年2月22日に開催された「安食小学校創立150周年記念式典」では、町長から記念鉛筆を児童に授与し、町民みんなで150周年をお祝いしたところです。

遡ること150年前、明治5年8月2日の学制発布当時の安食村は、利根川水運による隆盛がみられたことと想像できます。しかしながら、家事は人力主体で、薪拾いから弟妹の子守り、牛馬の餌やり、田畑の手伝いといった、現在では「ヤングケアラー」とも称されてしまう「お手伝い」は子供主体で、必須であったろうと考えます。労働力でもあった子供を学校へと誘導することは、大きな革命、維新のひとつだったのでしょうか。

そのような中、学校創設に向け、印旛県初の学校として明治5年9月23日に開校した当時の県庁所在地の流山小に村人を派遣し、流山小に遅れること5か月後に開校を成した安食の先人に、大いなる敬意を表すばかりです。

また、安食小の創立に続き、明治6年5月10日に開校した布鎌小学校の創立記念事業に向けて、博報堂教育財団が主催する令和4年度募集「第53回博報賞」に「創立150周年記念『奉納相撲』を通じた地域文化の継承について」と題する懸賞論文を応募したところ、「奨励賞」として副賞30万円をいただきました。今年早々に開催された布鎌小創立150周年記念事業に、少しは役立ててもらえたと考えます。

なお、明治5年の学制には、「邑に不学の戸なく、家に不学の人なからしめん事を期す」と記されています。150年後、最新の小中学生の不登校数は、29万9,048人で過去最大と大々的に報道されています。「経済的理由」は学校教育法19条により必要な援助を行っており、「お手伝い」で不登校となることもない時代にあって、様々な環境・要因へと目がいつてまいります。

時代は変われども、オンライン化になろうとも学校教育の意義を地域・保護者と共有し、不学の子がでないように、不学の子が学校に戻れるように教育委員会として努めてまいります。そのためにも、今年度から採用した学校運営協議会制度・全校コミュニティ・スクール化を軌道に乗せ、地域の子は地域で育てる理念を浸透してまいります。